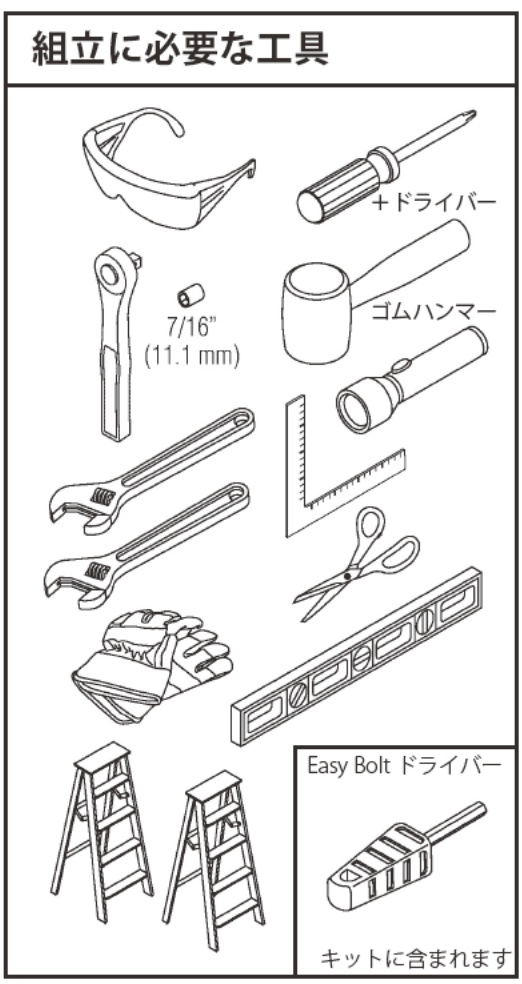
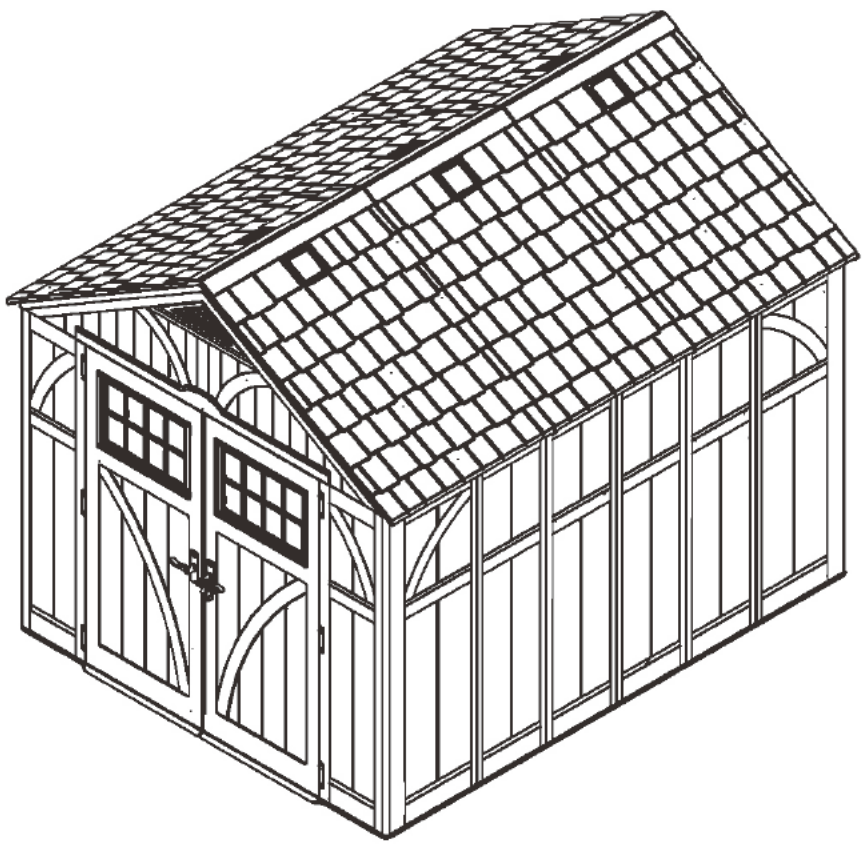
BMS8100
ホームデザイン物置Tremont （トレモント）【大】
取扱い説明書





組立前に必ず取扱い説明書をお読みください。
組立前に必ずパーツ確認をしてください。

© 2012 Suncast Corporation, Batavia, IL

0361199

設置前に・・・

- **法規に従って設置してください。**
  設置に関して、許可が必要な場合もしくは許可が必要か不明な場合は担当の自治体へお問い合わせください。
- **設置場所は水平レベルを出して地盤のしっかりした場所に設置してください。**
  設置場所基礎の情報は8ページを参照してください。
- **設置前に必ず取扱い説明書を最後までお読みください。**
  間違った手順で組み付けると製品の破損、事故の原因となる場合があります。
- **説明書の指示に従ってください。**
  取扱い説明書の指示に従わずに組立をすると破損、事故の原因となります。また、改造は行わないでください。
- **組立前にパーツを確認**
  組立前に4-7ページのパーツを確認してください。パーツ不足、パーツ不良が判明した場合は組立を行わないようにしてください。**組立前に基礎工事を完了させてください。**
- **組立は十分な人数を確保してください。（推奨人数：３名）**

説明書文中に左アイコンがある場合は２人以上（推奨人数３人以上）で作業してください。

注意

- しっかりとした基礎の上に設営してください。
- 物置は過酷な気象状況に対応していません。
- 化学薬品、可燃性物を保管できません。
- 一箇所に重量が集中する物は床や壁が変形する恐れがあります。
- 子供が使用する事はできません。
- 絶対に屋根の上に上らないでください。
- パーツの破損時はすぐに修理もしくはパーツ交換をしてください。
- Suncast社は誤った使用、不正な改造、自然災害に対する損害に対して責任を負いません。
- 定期的に物置の建付を確認してください。
- 定期的に基礎の水平レベルを確認してください。
- このキットは金属端パーツを含みます。扱うときは注意してください。（グローブ着用）

物置内の安全とメンテナンス

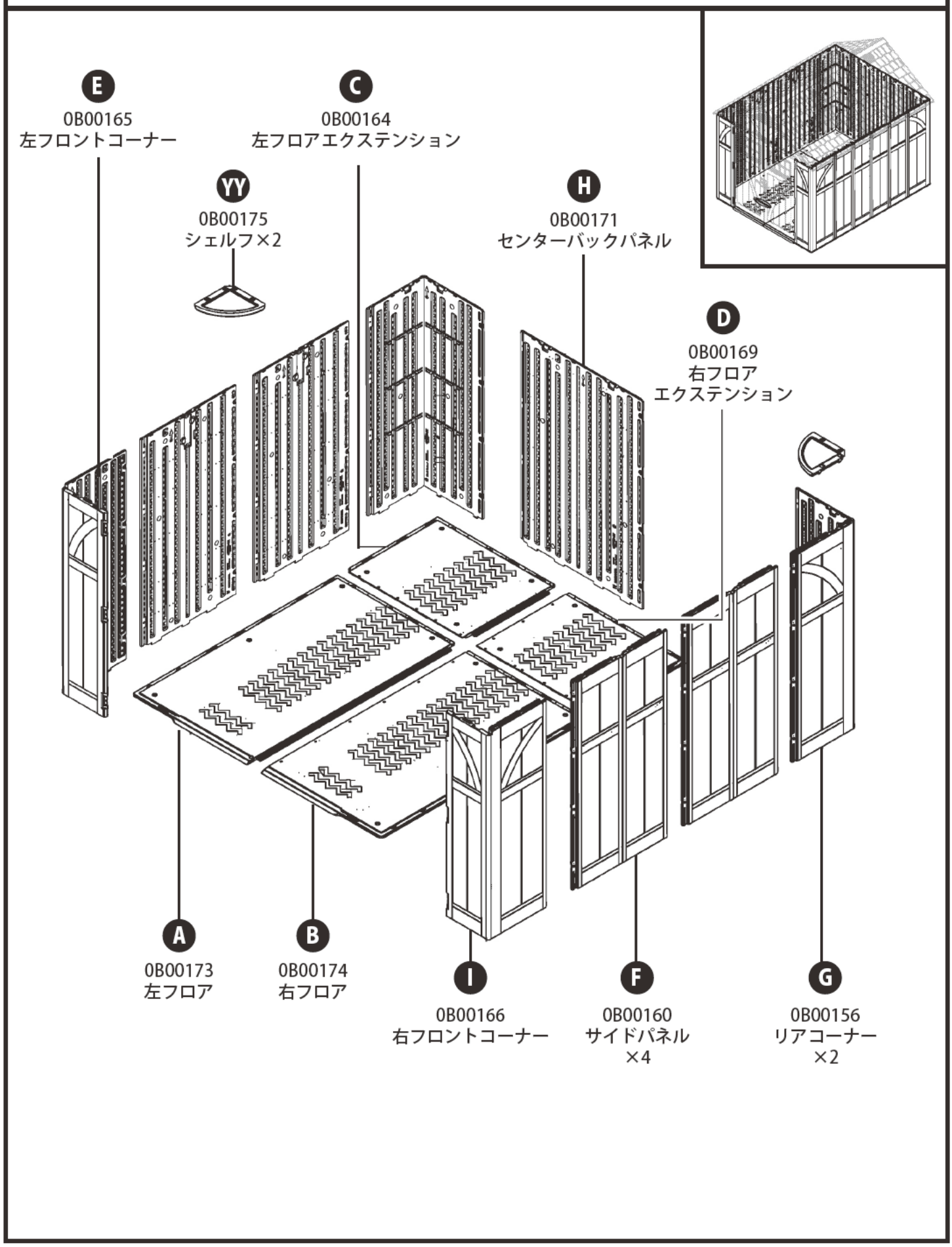
- 可燃用品は必ず燃料を抜いて保管してください。古い、ストーブ、グリル、トーチランプは保管しないでください。
- 電化製品、化学薬品、可燃物、生き物は収納できません。
- 重い荷物を壁に立てかけないでください。パネルの歪みを引き起こす可能性があります。
- 屋根の上の雪や葉を取り除いてください。
- 20cm以上積雪がある場合は屋根部の雪落としをしてください。
- 物置の屋根、壁部は細かいテクスチャを含みます。時間とともにその部分にチリがたまりコケが発生する場合があります。物置の性能を維持する為、年に一度やわらかいブラシ等を使用して中性洗剤と水で清掃してください。硬いブラシは使用しないでください。また、シンナー系、アンモニア系の化学薬品などを使用しないでください。

組立時の注意

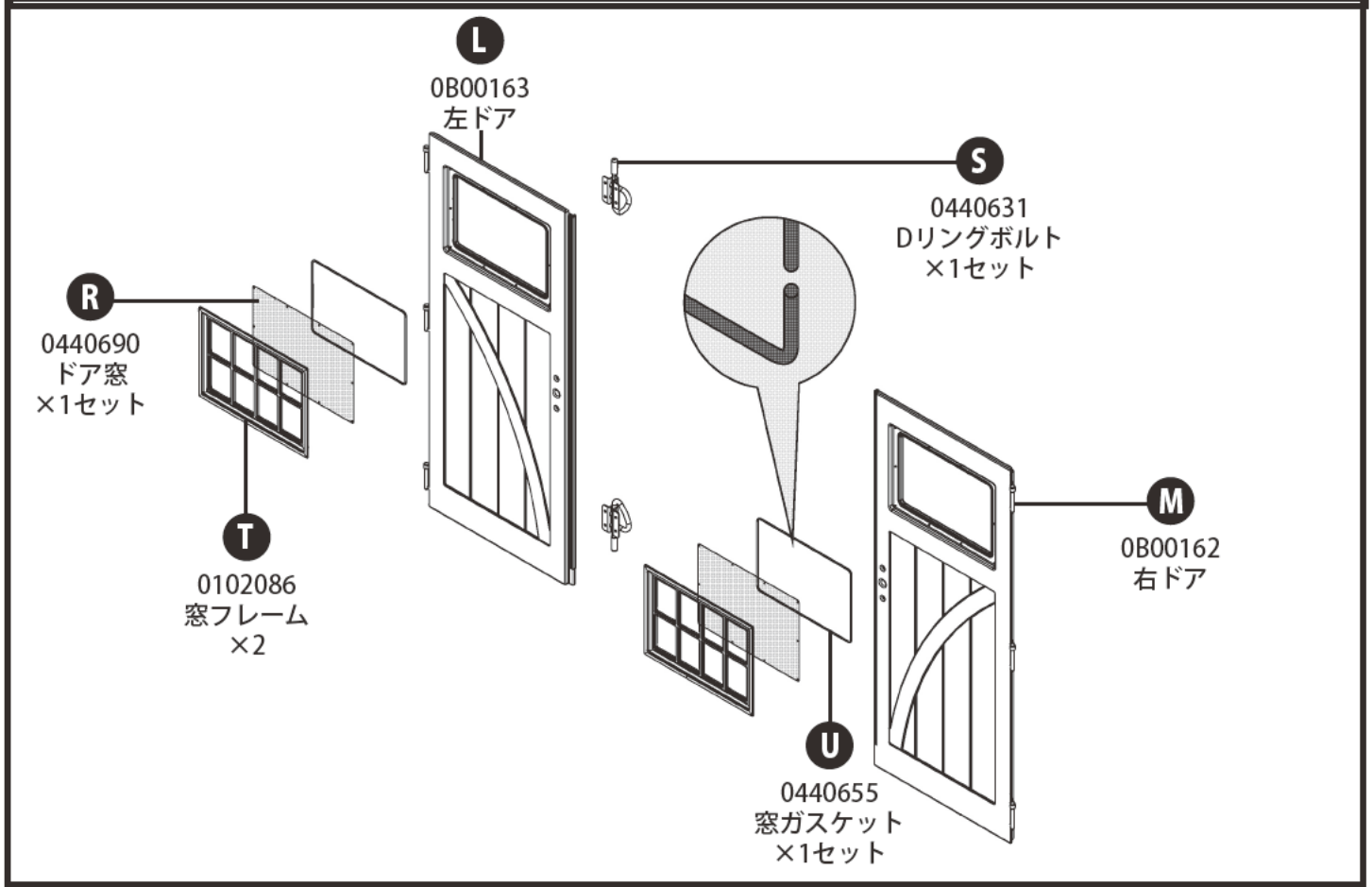
- 組立前に取扱い説明書をよくお読みになってください。
- 組立前にパーツの数量、パーツ不良の有無を必ず確認してください。
- パーツを組み立てる前に基礎を完成させてください。
- 風の強い日に組立しないでください。危険です。
- 氷点下での組立は行わないでください。破損する場合があります。
- 組立には十分な時間を確保してください。
- パーツ持ち上げ時の補助も含めて余裕のある人数で作業してください。（推奨３名）
- グローブをはめて、組立に適した服装で作業してください。
- 内部作業時、暗くなる場合がありますので、ハンディーライトなどの使用を推奨します。
- 細かいパーツが余分に入っている場合があります。使用しない場合も保管してください。
- プラスチックパーツを地面に置く場合は傷がつかないよう保護して作業してください。
- 火気の近くに設営しないでください。
- 強風にさらされる場所へは設置しないでください。
- 改造はしないでください。
- 組立後も取扱説明書を保管してください。

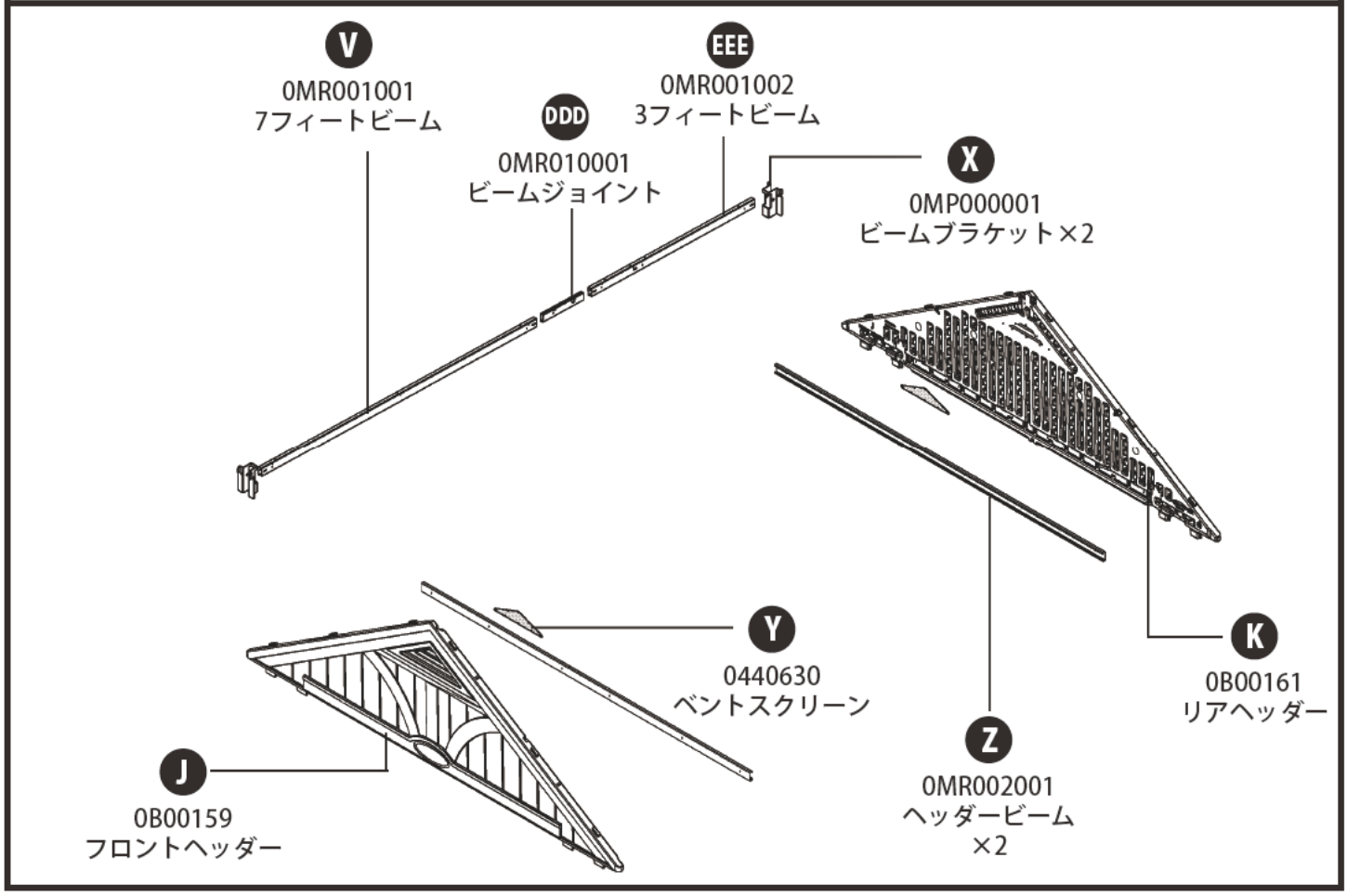
注意: 組立設営時に発生した事故、破損についての損害補償はしません。安全に配慮して設置組立をしてください。

パーツリスト

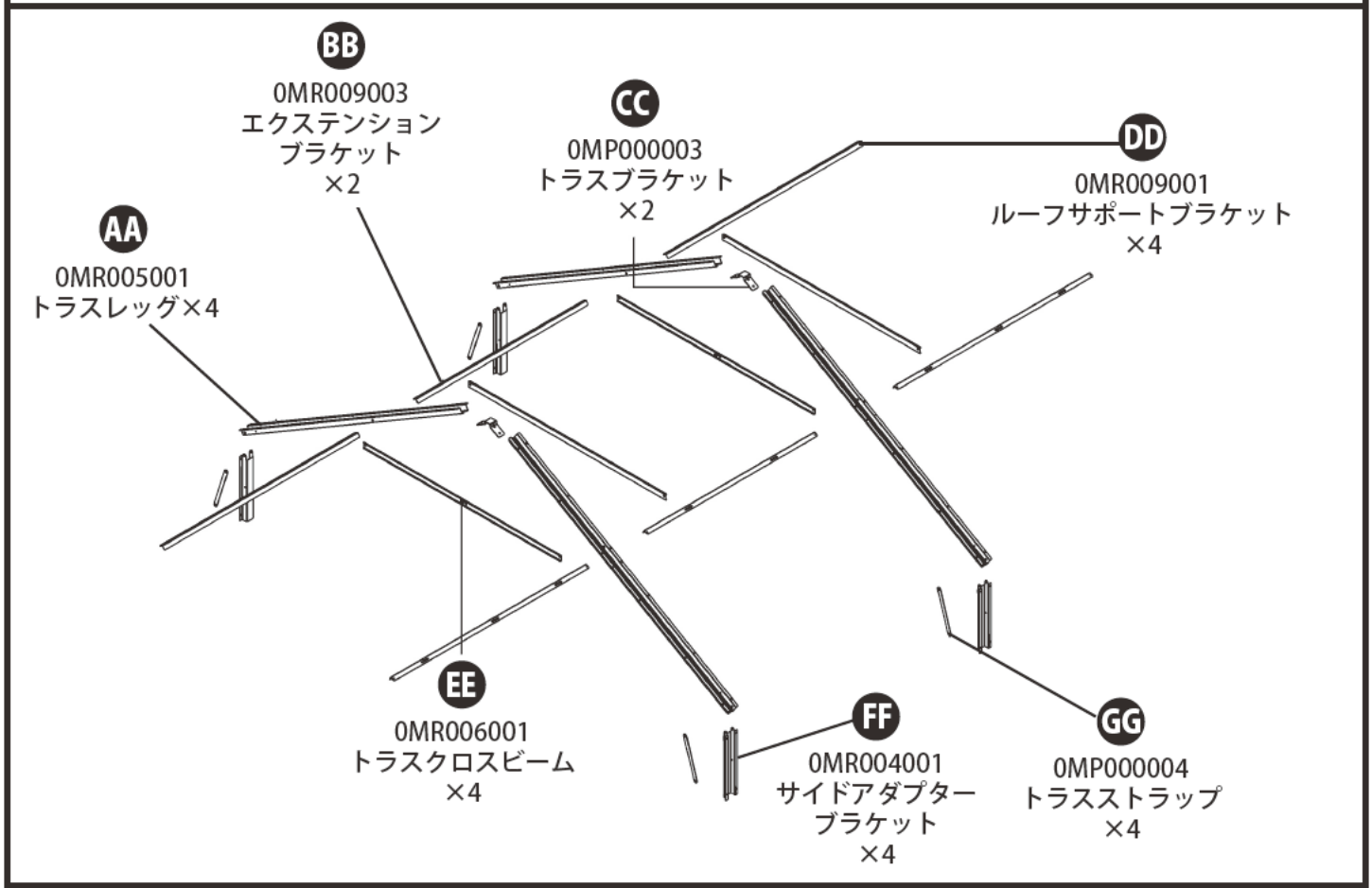

E
0B00165
左フロントコーナー
C
0B00164
左フロアエクステンション
YY
0B00175
シェルフ×2
H
0B00171
センターバックパネル
D
0B00169
右フロア
エクステンション
A
0B00173
左フロア
B
0B00174
右フロア
I
0B00166
右フロントコーナー
F
0B00160
サイドパネル
×4
G
0B00156
リアコーナー
×2

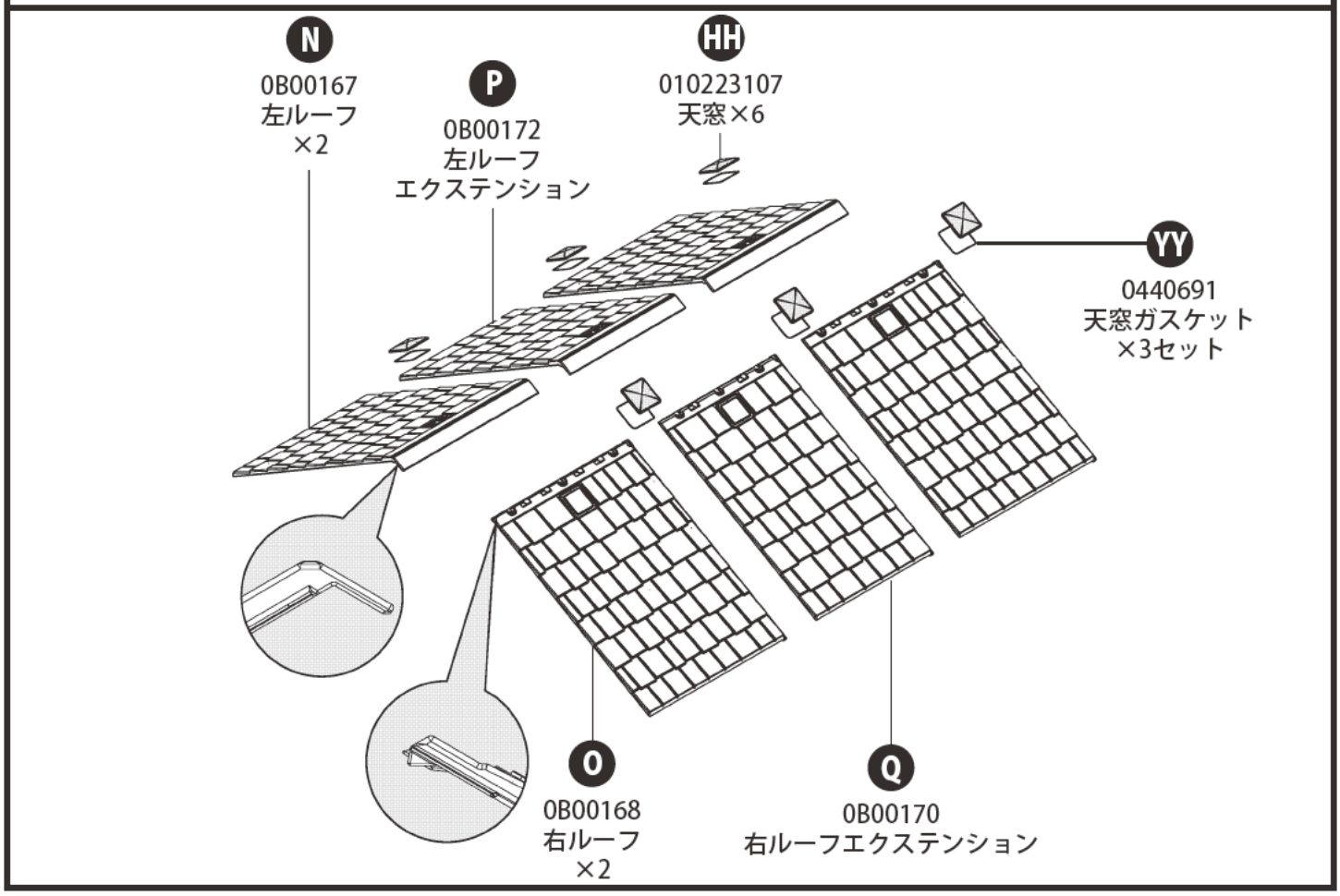
パーツリスト


L
0B00163
左ドア
S
0440631
Dリングボルト
×1セット
R
0440690
ドア窓
×1セット
T
0102086
窓フレーム
×2
M
0B00162
右ドア
U
0440655
窓ガスケット
×1セット


V
0MR001001
7フィートビーム
DDD
0MR010001
ビームジョイント
EEE
0MR001002
3フィートビーム
X
0MP000001
ビームブラケット×2
Y
0440630
ベントスクリーン
K
0B00161
リアヘッダー
J
0B00159
フロントヘッダー
Z
0MR002001
ヘッダービーム
×2

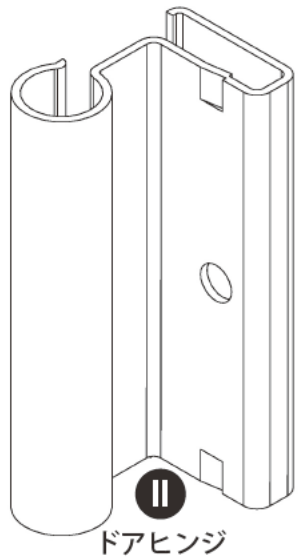
パーツリスト


BB
0MR009003
エクステンション
ブラケット
×2
CC
0MP000003
トラスブラケット
×2
DD
0MR009001
ルーフサポートブラケット
×4
AA
0MR005001
トラスレッグ×4
EE
0MR006001
トラスクロスビーム
×4
FF
0MR004001
サイドアダプター
ブラケット
×4
GG
0MP000004
トラスストラップ
×4


N
0B00167
左ルーフ
×2
P
0B00172
左ルーフ
エクステンション
HH
010223107
天窓×6
YY
0440691
天窓ガスケット
×3セット
O
0B00168
右ルーフ
×2
Q
0B00170
右ルーフエクステンション

パーツリスト

0MP000002



II
ドアヒンジ
×6

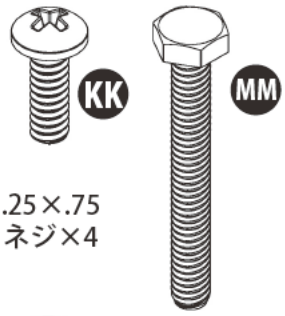
0480290 –
Hardware bag

JJ
.625
トラスネジ×150

0480336 –
Hardware bag

JJ
.625
トラスネジ×125

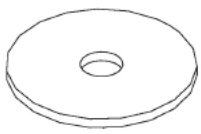
0480339 – Hardware bag



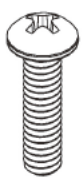
KK
MM
.25×.75
ネジ×4
.25ボルト
×2

LL
.25ナット
×6

0480306B – Hardware bag

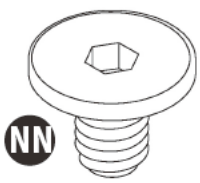


WW
.25ワッシャー
×5

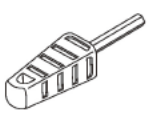


XX
.25×1
パンヘッドネジ
×7

0480334 –
Hardware bag



NN
イージーボルト
×36



OO
イージーボルト
ドライバー

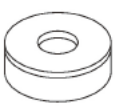
0480337 – Hardware bag

KK
.25×.75ネジ
×6

LL
.25ナット
×6

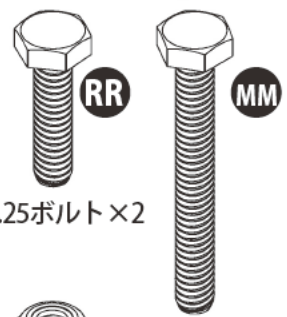
0480338 –
Hardware bag

PP
75ネジ×9



QQ
ワッシャー
×9

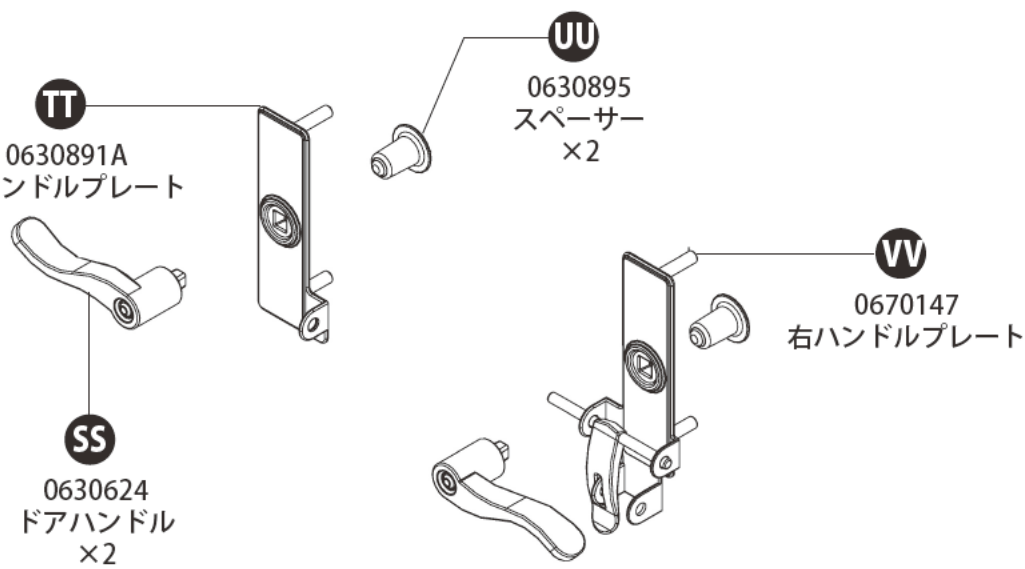
0480340 – Hardware bag



RR
MM
.25ボルト×2
.25×2ボルト
×4

LL
.25ナット
×6

0440647B – Door Handle Kit



基礎について

組立キットには基礎の材料は含まれていません。

注： この物置を設置するには基礎が必要です。しっかりとした水平の基礎の上に物置を設置してください。基礎を設置しないと歪みの原因となり、立て付けが悪くなる場合があります。また、物置本来の強度が保てない場合や最悪破損する恐れがあります。

注： 組立前に必ず基礎を施工してください。

基礎の準備をしてください。
1)設置場所の法規に従って基礎を作成してください。基礎について不安な点がありましたら、業者等へご相談ください。SUNCAST社は基礎施工の斡旋は行っていません。

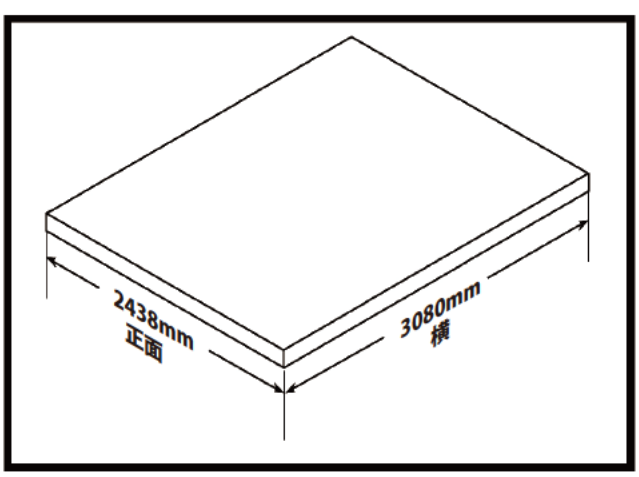
2)地中の配線、パイプ等に注意して基礎を作成してください。

3)基礎の作成方法:
コンクリート基礎（推奨）
１０cm以上の厚さで施工してください。水平に施工してください。水はけ等に注意してください。
木枠基礎
設計図を参考に木枠の基礎を作成してください。基礎に使用する木は防腐処理が施された物を使用してください。必ず水平に木枠基礎を設置してください。図は例です。収納物に合わせて木枠を増やし補強してください。最低でも一年に一度基礎の水平状態、腐食状態などをご確認ください。

4)基礎について:
- 基礎面は平らで水平にしてください。
- 基礎面は他の面より高くして水がたまらないようにしてください。

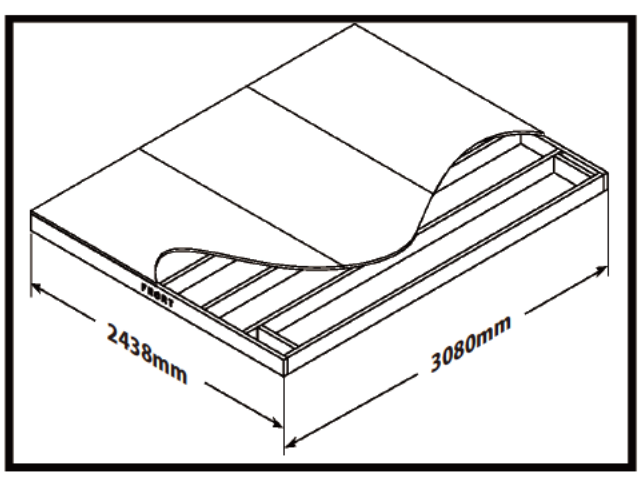
5)アンカーについて:
- フロアには１枚につき25mmのアンカーポイントが4箇所あります。（フロアパネルの４隅くぼんだ部分）
- 基礎に合わせて別途アンカーを用意して施工してください。キットにはアンカーは含まれていません。

コンクリート基礎



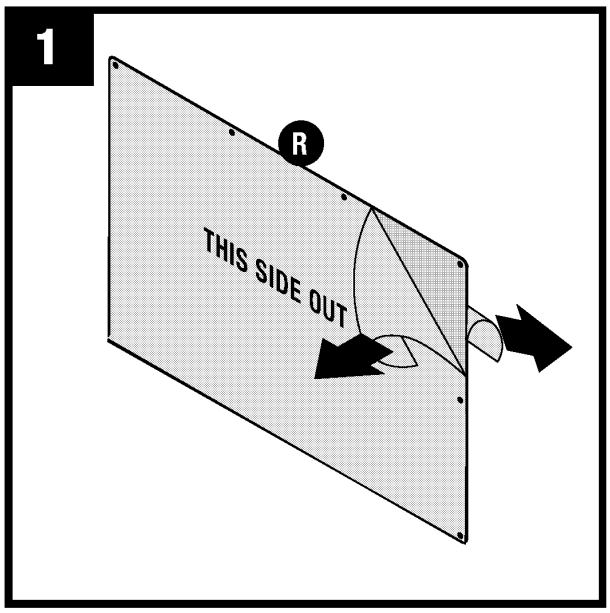
・推奨基礎。

木枠基礎（例）

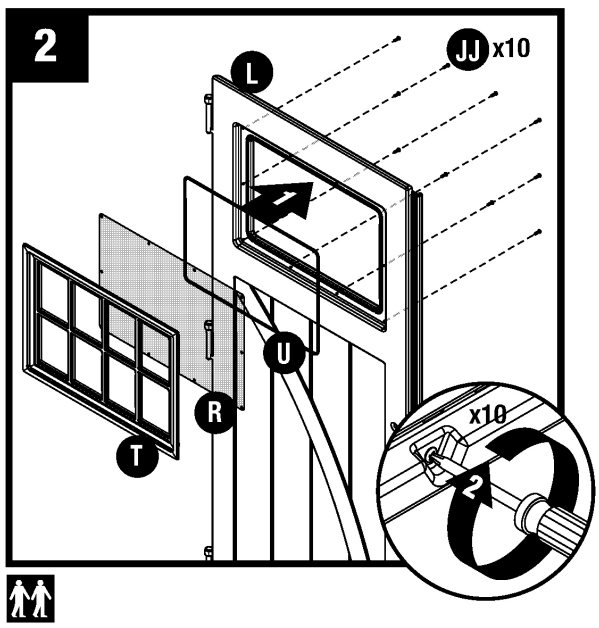


・木枠の上部には防腐処理されたパネル（コンパネ等）を一面取り付けてください。

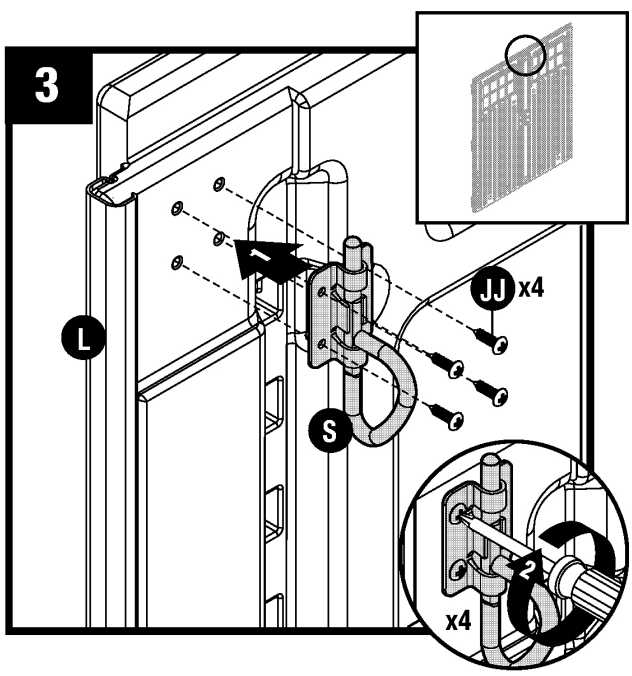
ドアの組立



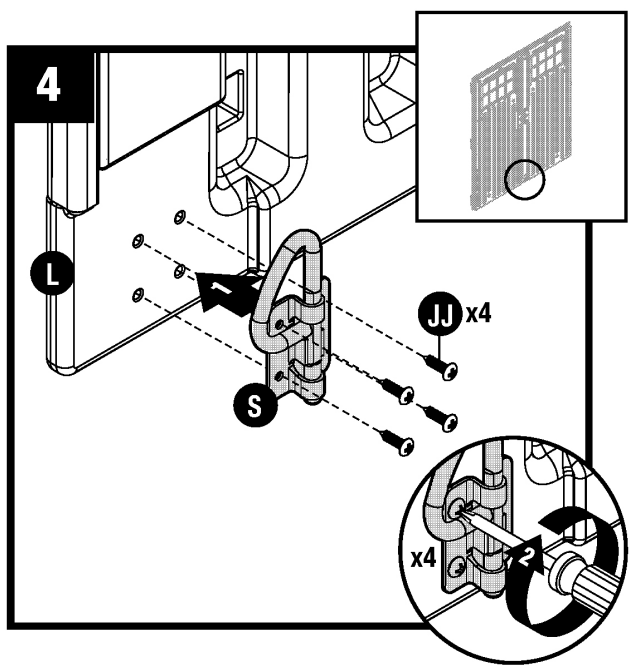
ドア窓（R）のフィルムをはがします。
注：配置する際は、「THIS SIDE OUT」の文字がある面を外側にしてください。



左ドア（L）に、図のように窓ガスケット（U)、窓（R)、窓フレーム (T) の順番に重ねます。ドアの裏側から 10 本のネジ（JJ）を使用して固定します。(最初に四つ角を締め、その後他を締めるとスムーズです)
ネジを締めすぎないよう注意してください。同じ手順で右ドア（K）に窓を取り付けます。
注 : ガスケットは下部分からはめ込みを始めてください。ガスケットが長い場合は長さを合わせて切断してください。

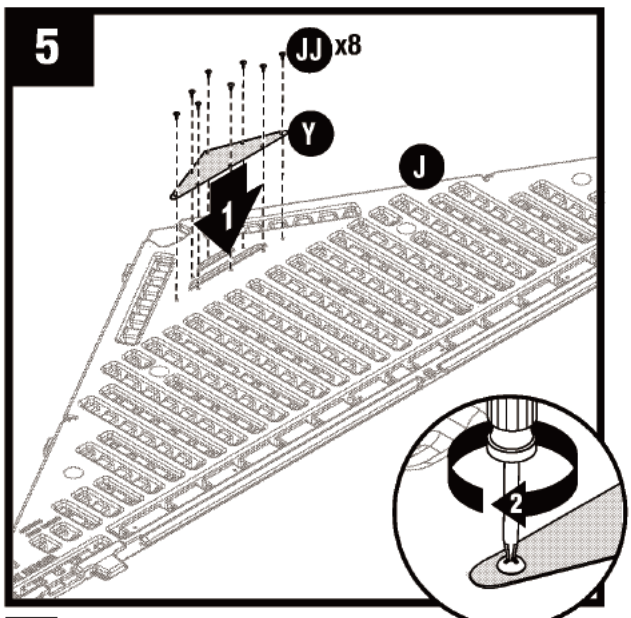


図のように左ドア（L）内側上部に D- リングスライドボルト（S）を４本のネジ（JJ）を使用して穴に合わせて取り付けます。

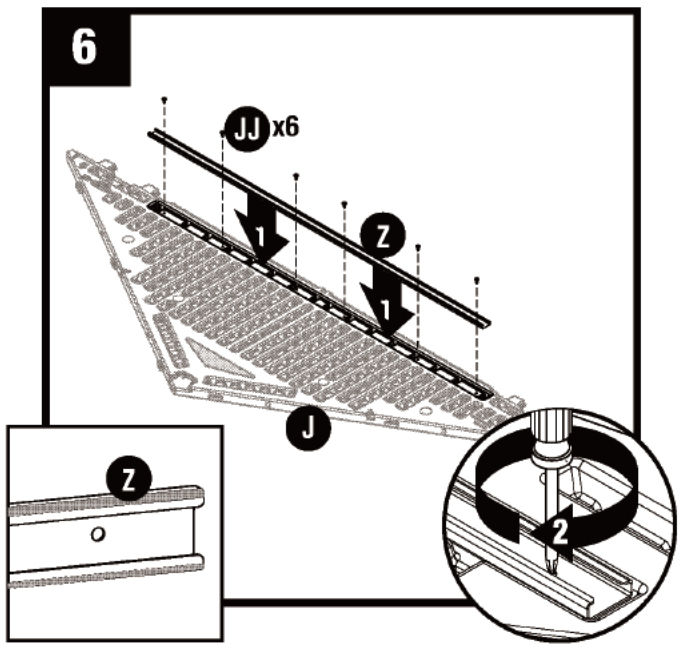


同じように左ドア（L）内側下部に D- リングスライドボルト（S）を４本のネジ（JJ）を使用して 穴に合わせて取り付けます。

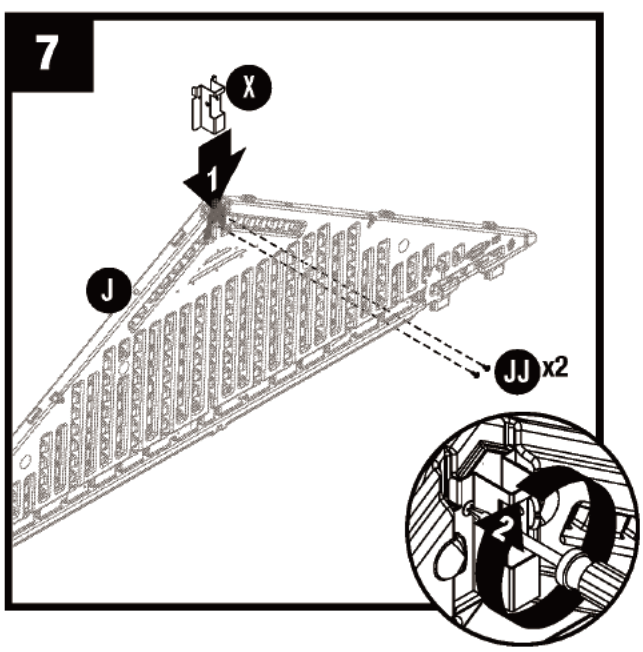
ヘッダーの組立



表側を地面に向けてフロントヘッダー（J）を置き、ベントスクリーン（Y）を配置します。図のように 8 本のネジ（JJ）を使用して固定してください。
注：ネジを締めすぎないよう注意してください。



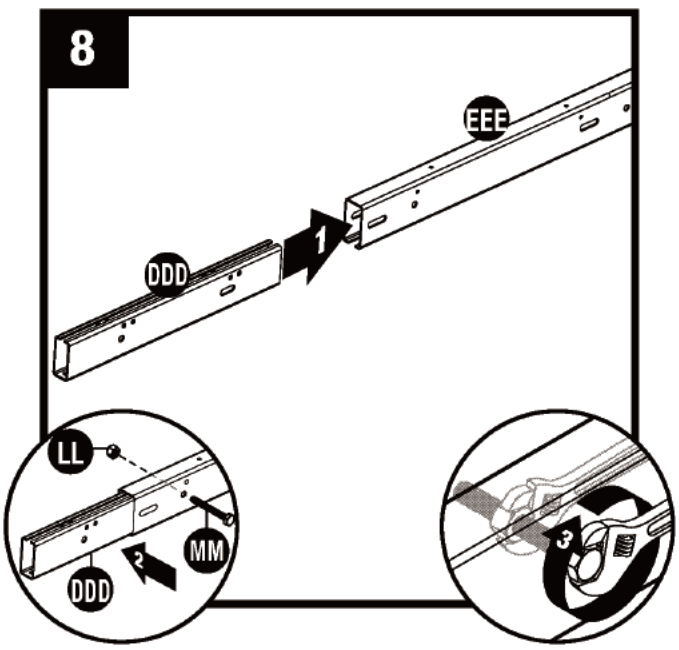
フロントヘッダー (J) のポケットにヘッダービーム（Z）を配置します。6 本のネジ（JJ）を使用して固定してください。ネジを締めすぎないよう注意してください。



ビームブラケット（X）をフロントヘッダー（J）の図の位置に差し込み 2 本のネジ（JJ）を使用して固定して下さい。ネジを締めすぎないよう注意して下さい。

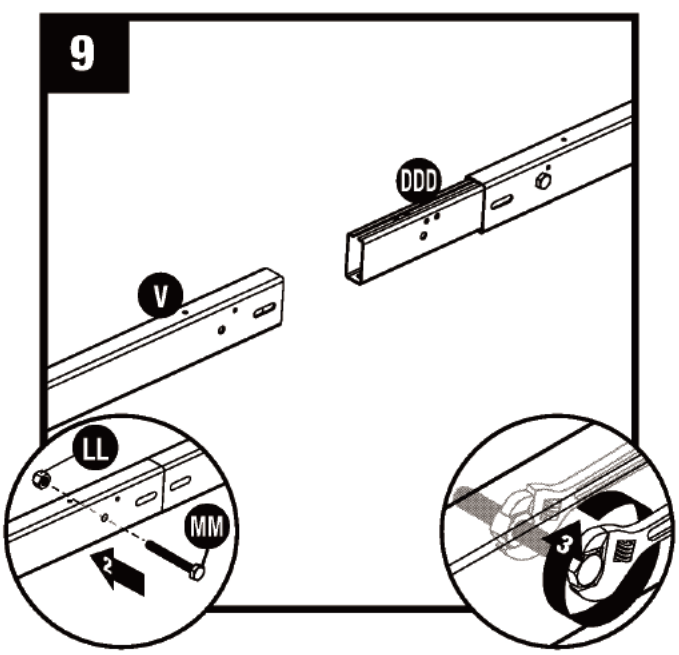
リアヘッダー（K）もステップ 5–7 を繰り返します。

ビームの組立



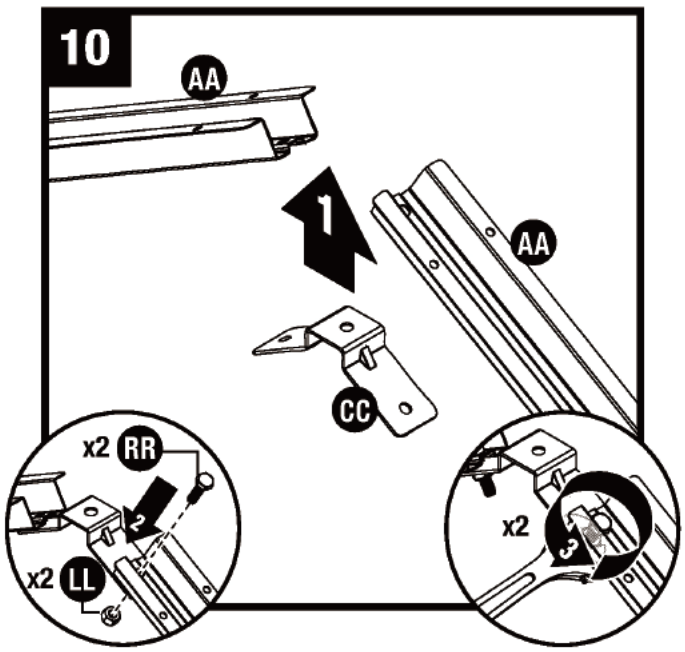
3 フィートビーム（EEE）にビームジョイント（DDD）を差し込み、ボルト（MM）とナット（LL）で固定します。

3 フィートビーム（EEE）の向きに注意して下さい。図を参照して下さい。

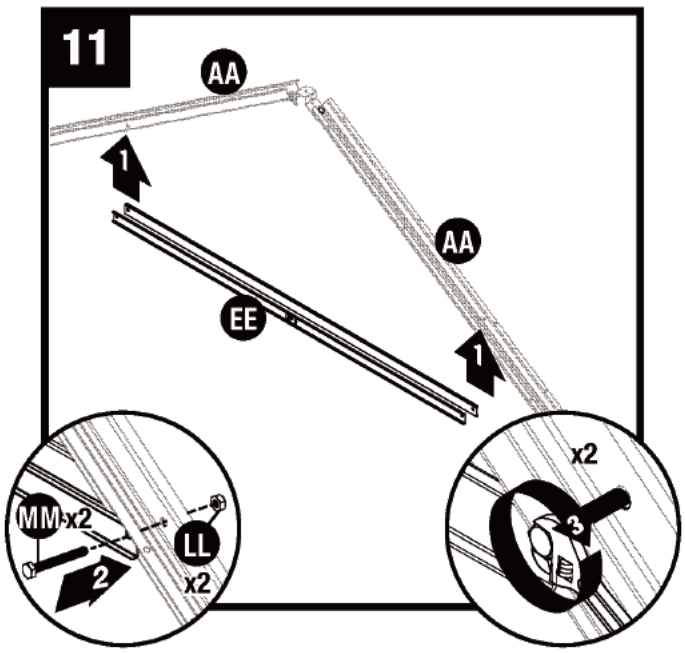


ビームジョイント（DDD）に 7 フィートビーム（V）を差し込み、ボルト（MM）とナット（LL）で固定します。

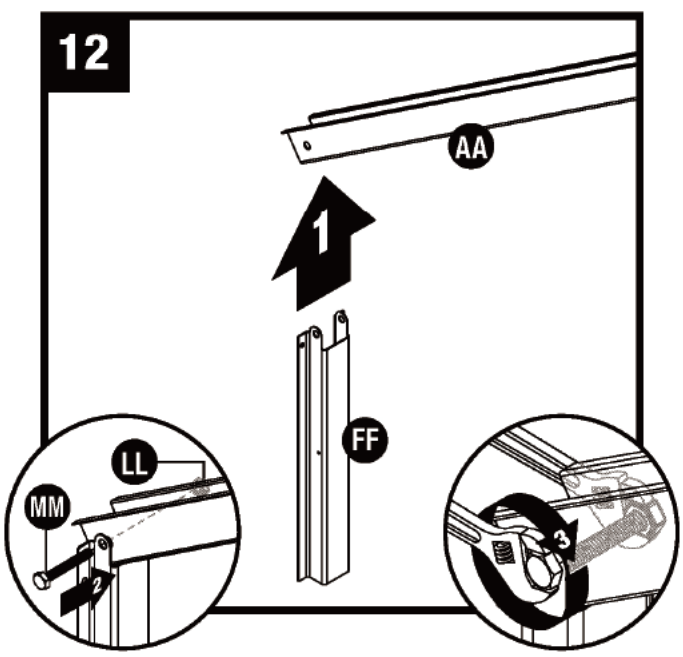
屋根の組立



トラスブラケット（CC）とトラスレッグ（AA）2 本をボルト（RR）とナット（LL）を使用して取り付けます。



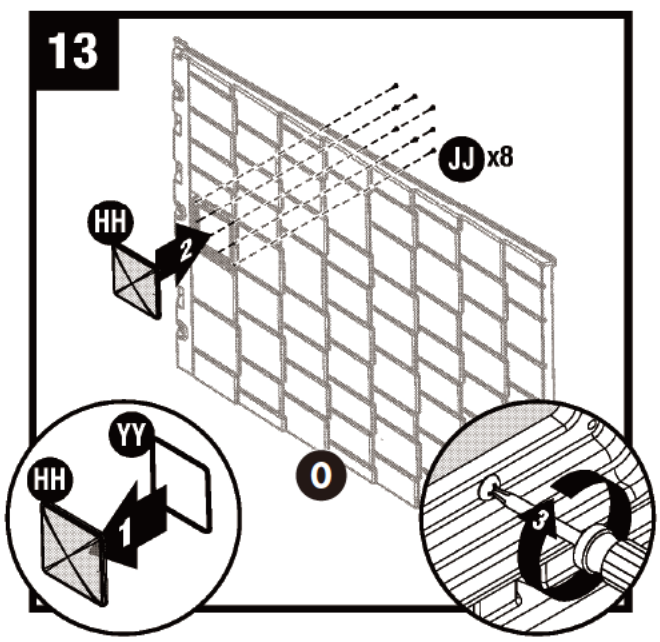
図のように 2 本のトラスクロスビーム (EE) と 2 本のトラスレッグ (AA) をボルト (MM) とナット (LL) を使用して取り付けます。トラスを調節し、クロスビームの水平を確認してください。



図のようにサイドアダブターブラケット（FF）とトラスレッグ（AA）をボルト（MM）とナット（LL）を使用して取り付けます。もう片方の端にも同じようにブラケット（FF）を取り付けてください。

注： このステップでは仮締めをし、サイドアダブターブラケットが動くようにしてください。組立がすべて終了したらしっかりと締めてください。

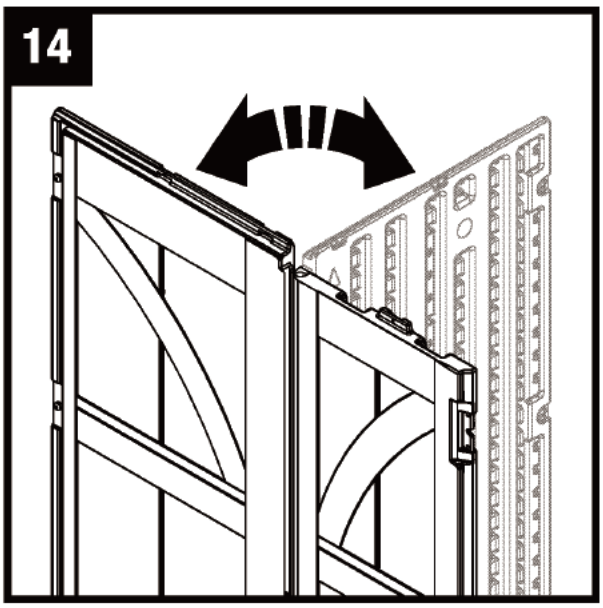
もう 1 組のトラスにも 10-12 のステップを繰り返してください。



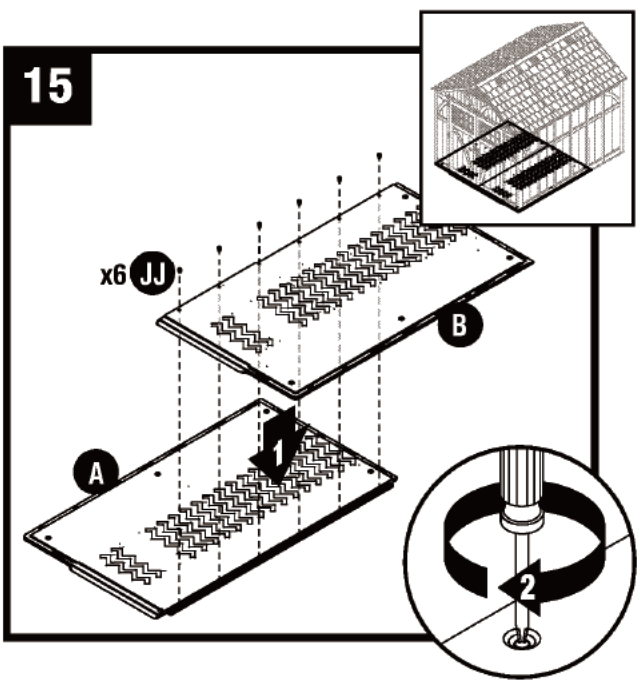
図のように、天窓（HH）に天窓ガスケット（YY）をはめ、右ルーフ（O）へ配置します。8 本のネジ（JJ）を使用して、裏側から固定してください。
他のルーフパネルにも同じ手順を繰り返します。

注： ガスケットが長い場合は長さを合わせて切断してください。ガスケットは下部分からはめ込みを始めてください。ネジの締めすぎに注意してください。

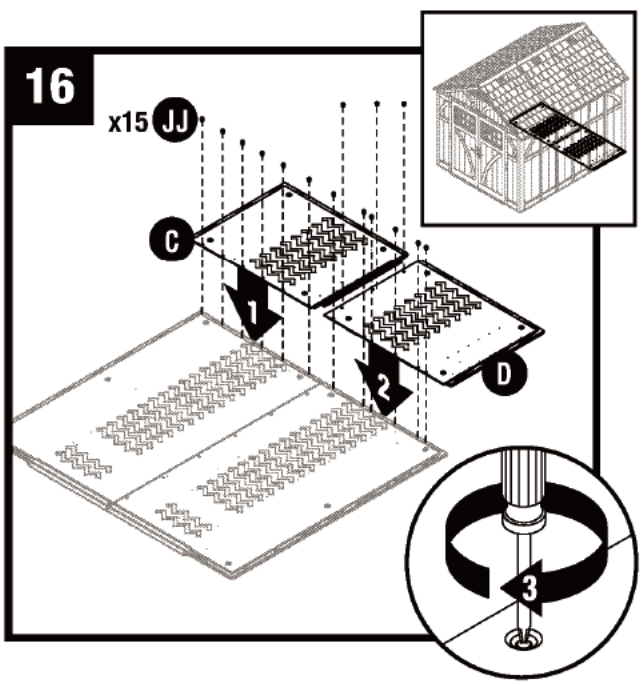
壁の組立



注意：
コーナー部のパネルを配置する際は、必ず内側に折り込み、フロアパネル及びほかのパネルと確実に接続してください。
反対方向へ曲げると破損する恐れがあります。

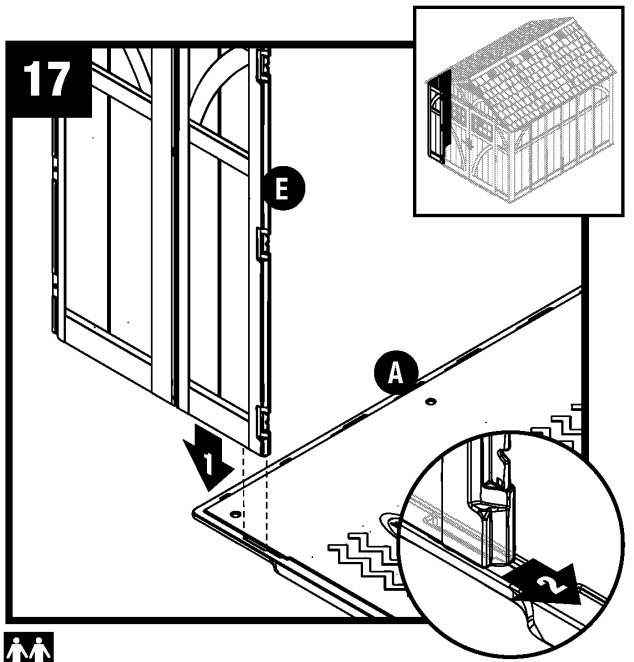


左フロア (A) と右フロア（B) の接続部分を重ね 6 本のネジ (JJ) で接続します。



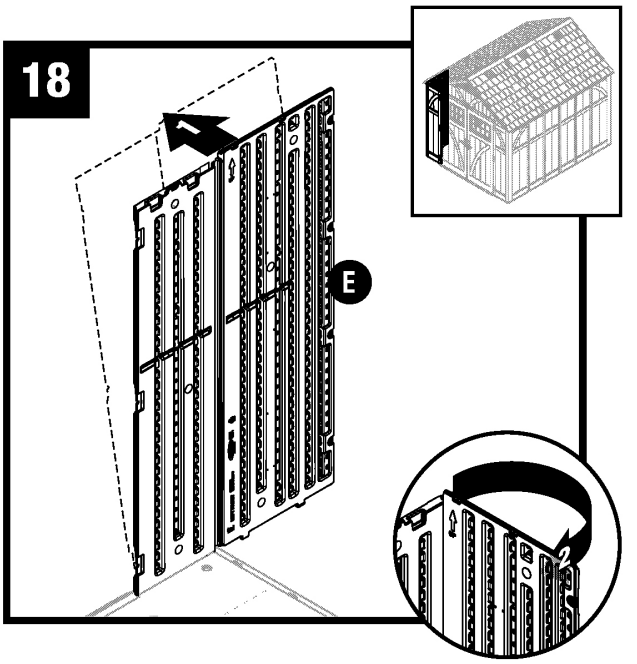
左フロアエクステンション（C）と右フロアエクステンション（D）を左右フロア（A/B）に接続し、15 本のネジ（JJ）で固定します。

壁の組立

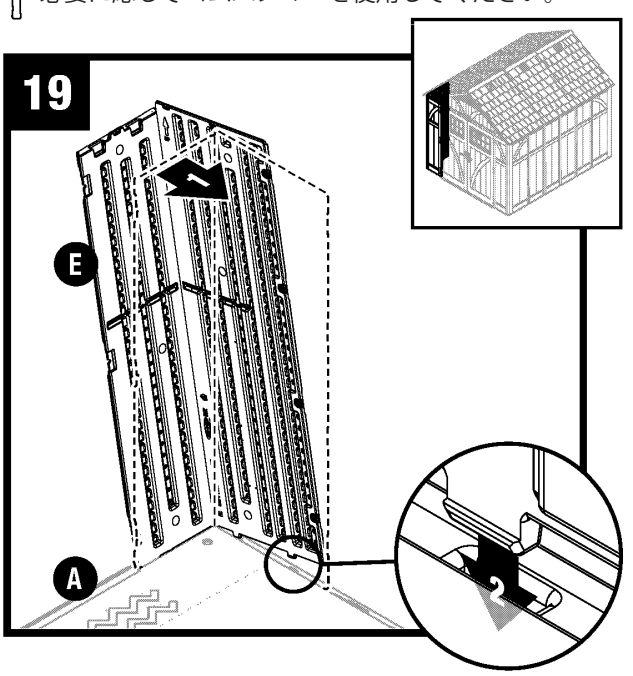


図を参考に左フロントコーナー (E) のタブをフロア (A) の溝に差し込み、矢印 2 方向へスライドさせます。

注 : 左フロントコーナー (E) を完全に差し込むために必要に応じてゴムハンマーを使用してください。

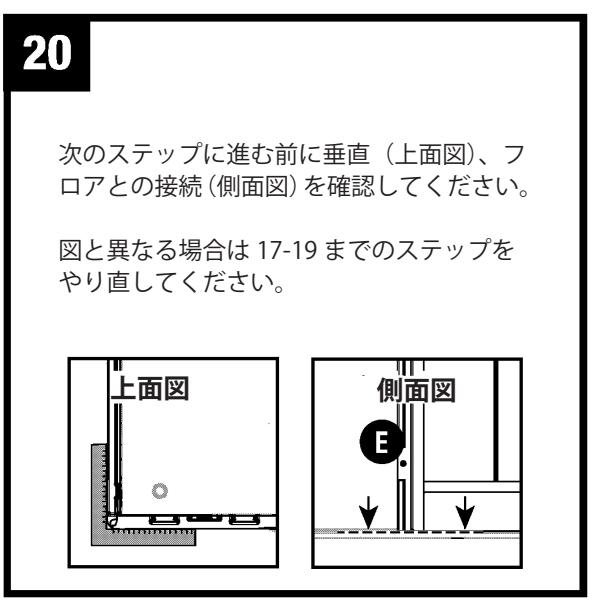


左フロントコーナー (E) を矢印 1 の方向に少し倒し、コーナー部を矢印 2 のように内側へ曲げてください。

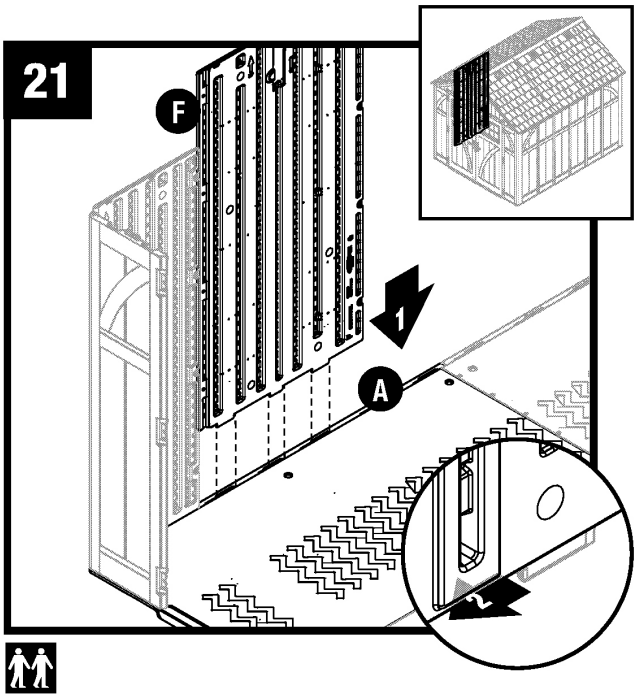


左フロントコーナー (E) の角が曲がった状態を保ちながら矢印 1 の方向に戻し、フロアに差し込みます。

注 : タブが完全に差し込まれると、スナップが聞こえます。

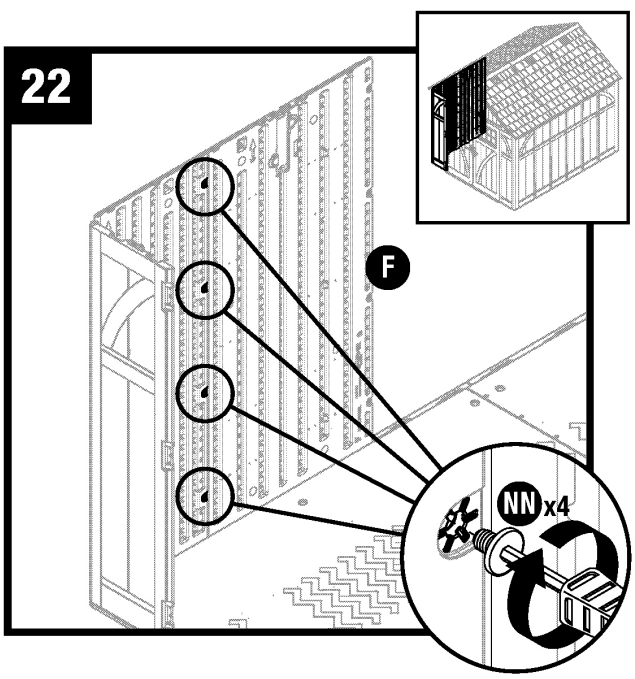


壁の組立



図を参考にサイドパネル（F）をフロア（A）に差し込み、矢印 2 の方向へスライドさせます。

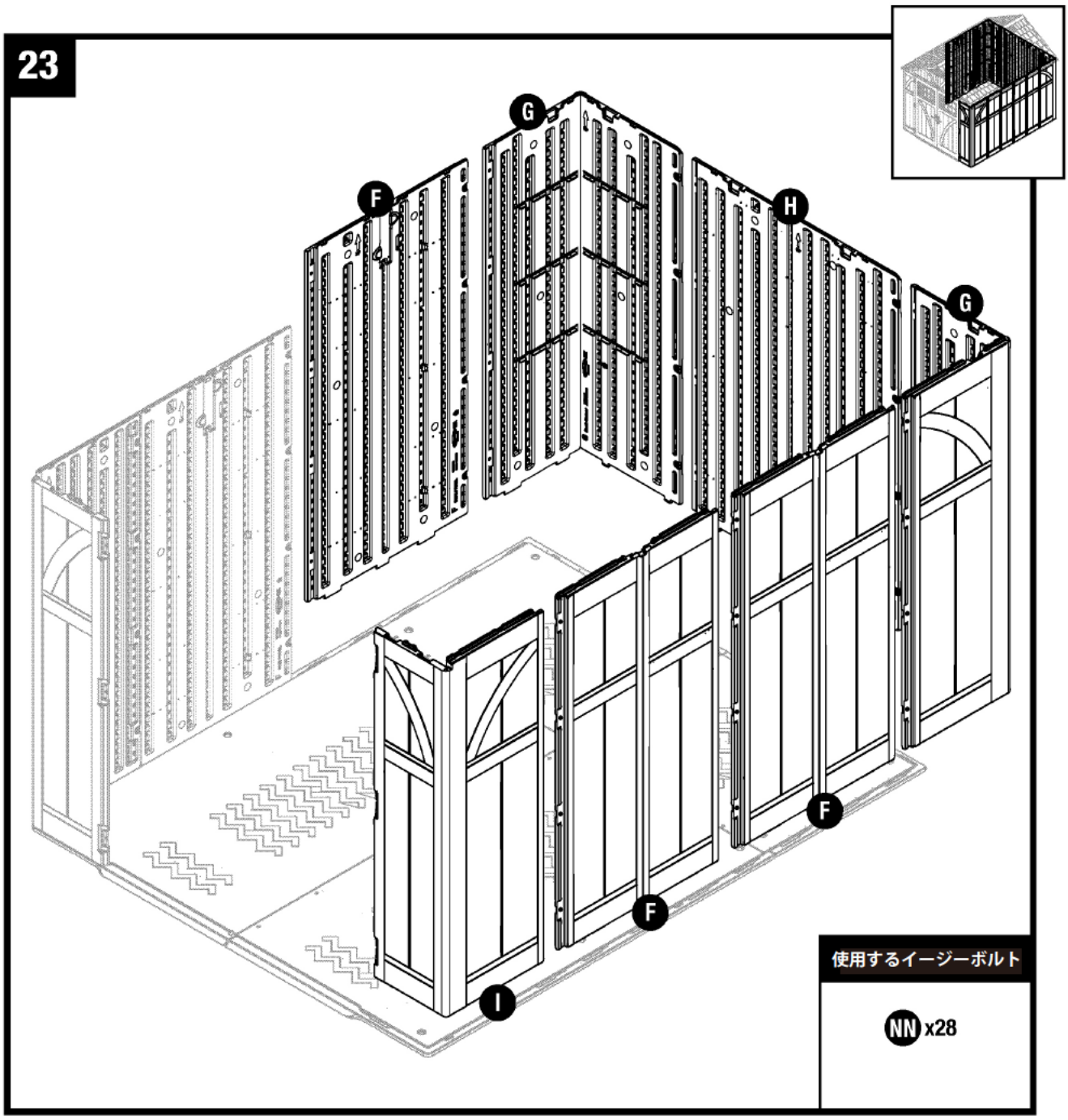
注 : サイドパネル（N）を完全に差し込むために必要に応じてゴムハンマーを使用してください。



4 つのイージーボルト（NN）を使用して、フロントコーナー（E）とサイドパネル（F）を接続します。
付属のイージーボルトドライバー（OO）を使用して、フロア側から屋根側へ向かって順に締めてください。

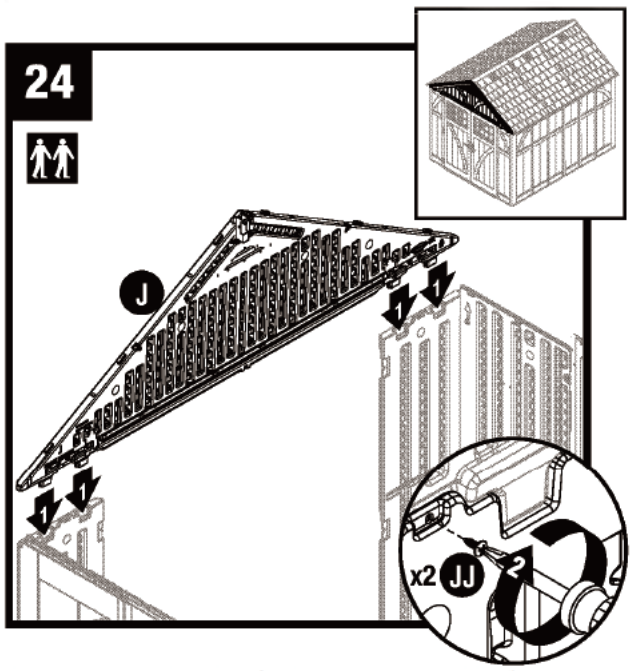
注：カチッと音がするまで締めます。締めすぎに注意してください。イージーボルトドライバー以外の工具は使用しないでください。

壁の組立

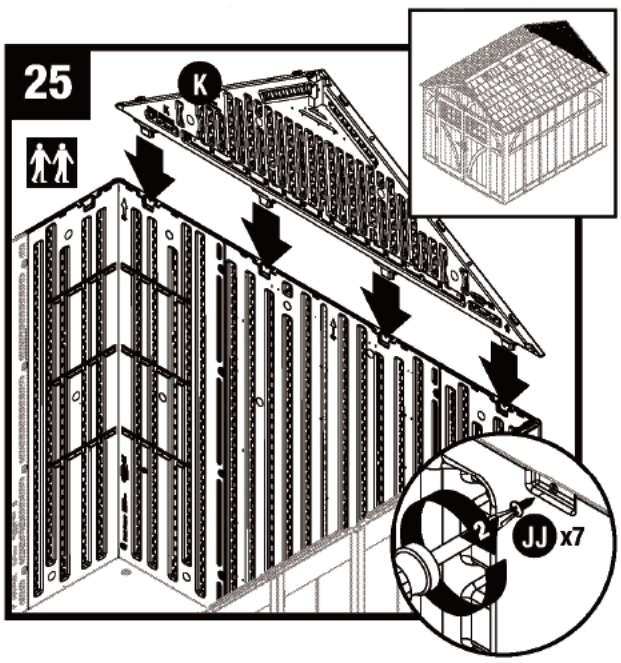


残りのパネルも 17-22 のステップを繰り返して、組み立ててください。

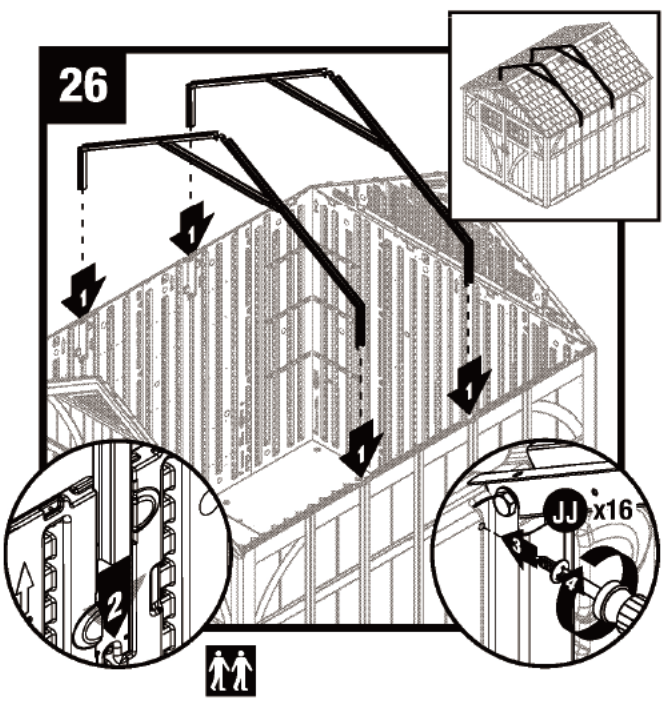
屋根の組立



フロントコーナー上部のポケットにフロントヘッダー（J）の4箇所のタブを挿入し、ネジ（JJ）を2本使用して固定します。

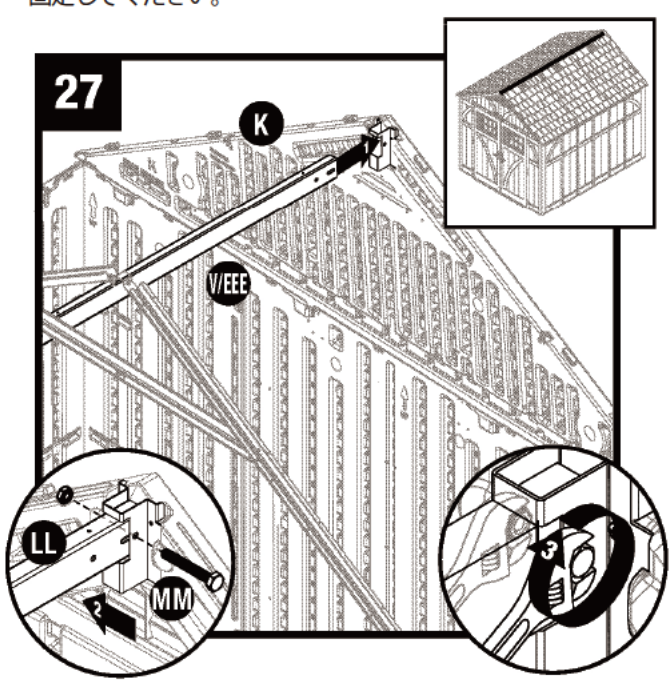


同じように、バックパネル部のポケットにリアヘッダー（K）の4箇所のタブを挿入します。ネジ（JJ）を7本使用して、固定してください。



組立済みのトラスのサイドアダプターブラケット部をサイドパネルの差込み口に挿入し、16本のネジ（JJ）を使用して固定します。

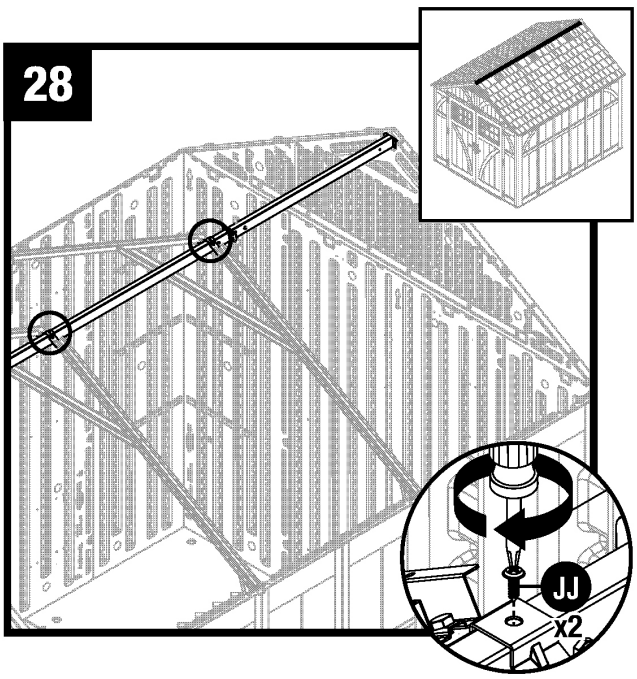
注：トラスタイダウンが入りにくい場合は少しサイドパネルを内側もしくは外側へ押して挿入してください。



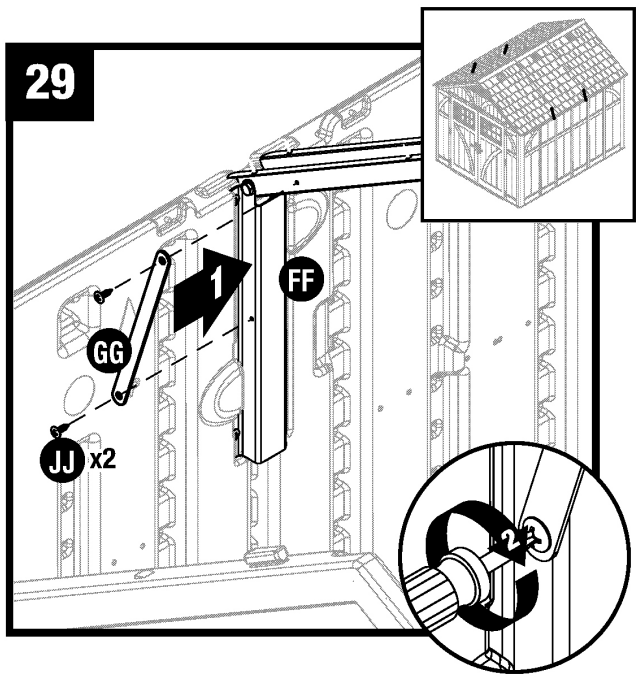
図のように組立済みのビーム（V/EEE）をリアヘッダー（K）のビームブラケットに差込み、ボルト（MM）とナット（LL）を使用して固定します。

注：ビームをブラケットに挿入する際、リアヘッダーを少し前後へ動かす場合があります。ヘッダーが落ちないように注意して挿入してください。

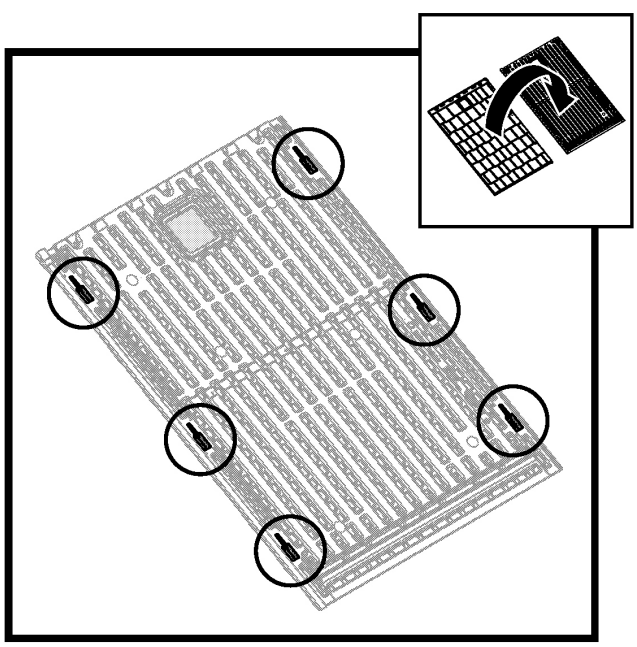
屋根の組立



2 本のネジ（JJ）を使用して、ビームとトラスを固定します。

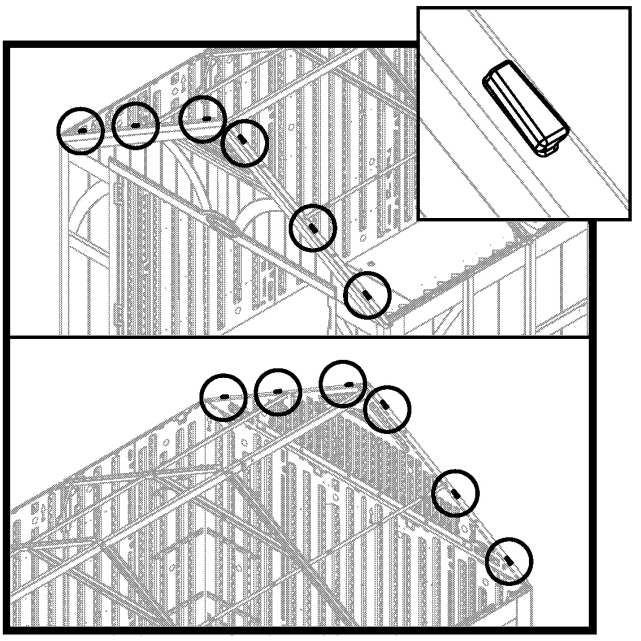


2 本のネジ（JJ）を使用して、サイドアダプターブラケット（FF）とトラスレッグ（AA）にトラスストラップ（GG）を取り付けます。

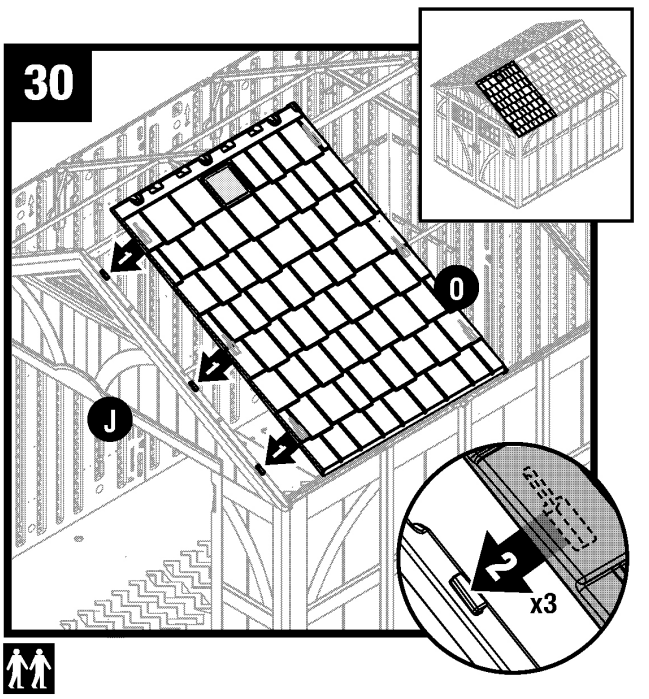


次のステップに進む前に、左右のルーフパネルの内側にある 6 つの溝を確認してください。

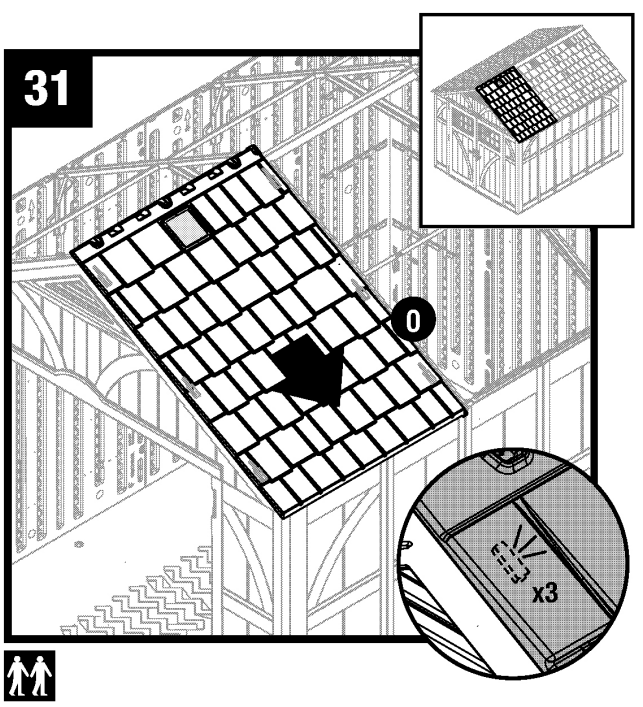
屋根の組立



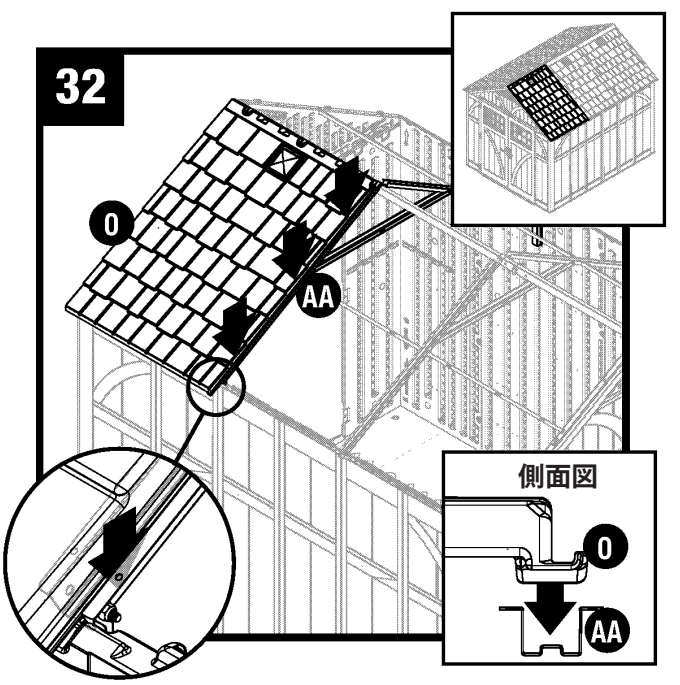
次のステップに進む前に、フロント及びリアヘッダーにある6つのタブを確認してください。



右ルーフパネル（O）の溝とフロントヘッダー（J）のタブを合わせて置きます。
3つのすべてのタブがきちんと合っているのをチェックしてください。

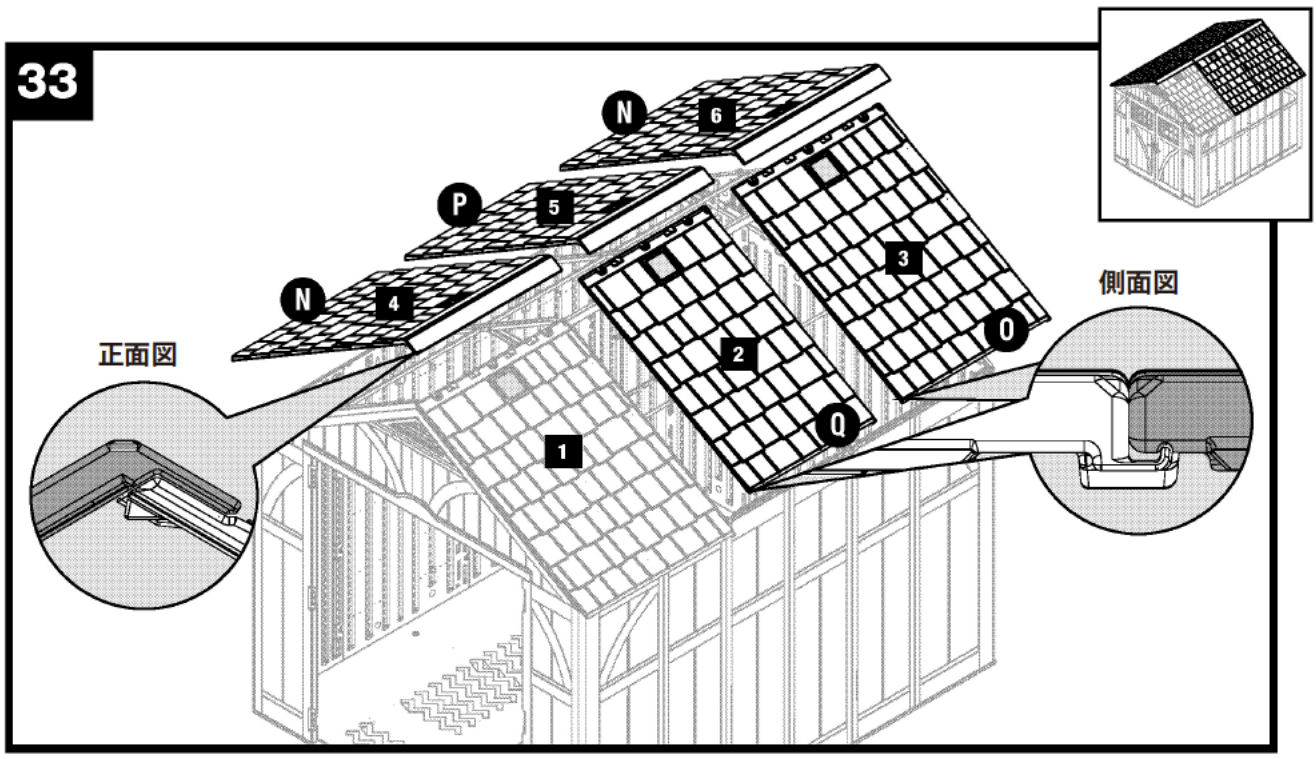


右ルーフ（O）を矢印の方向へスライドさせます。

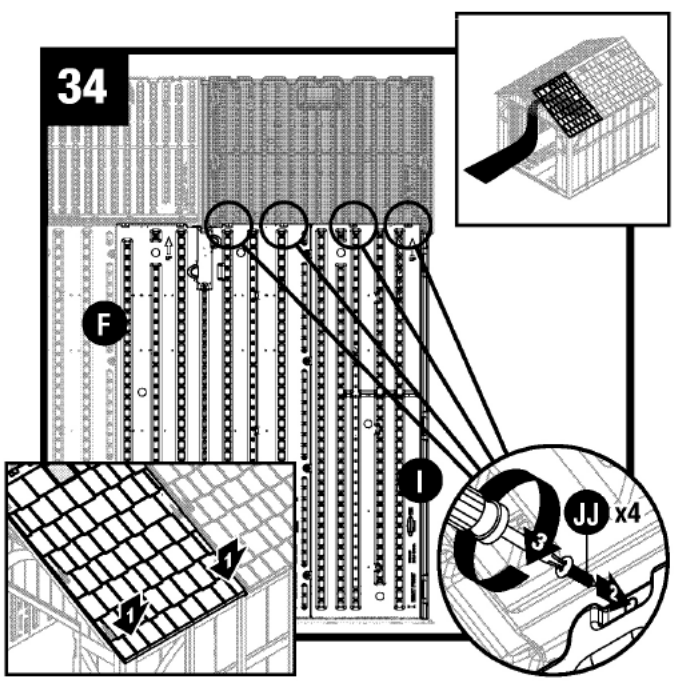


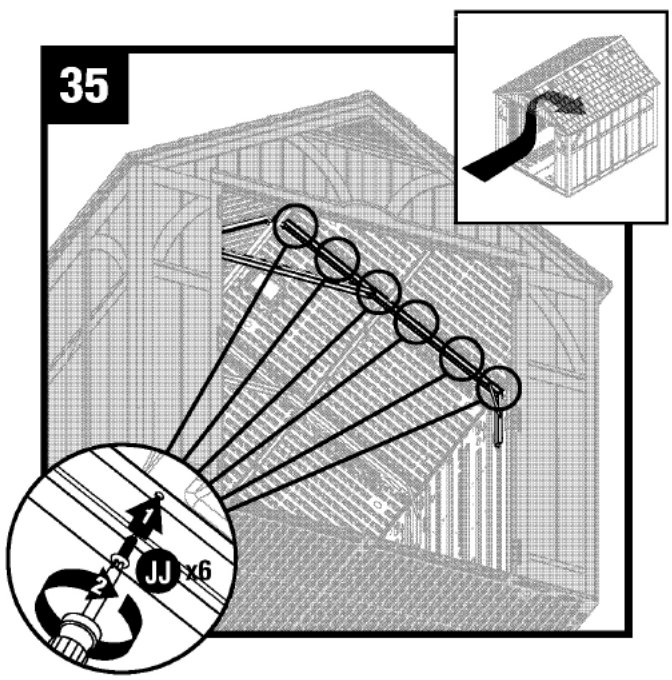
右ルーフ（O）の端をトラスレッグ（AA）の溝部分へ入れるように圧入してください。

屋根の組立



残りのルーフも 30-32 のステップを繰り返し、図の■→■の順番で組み立ててください。
注：ステップ 35 でネジ締めするルーフパネルの穴とトラスの穴位置を合わせながら組立ててください。

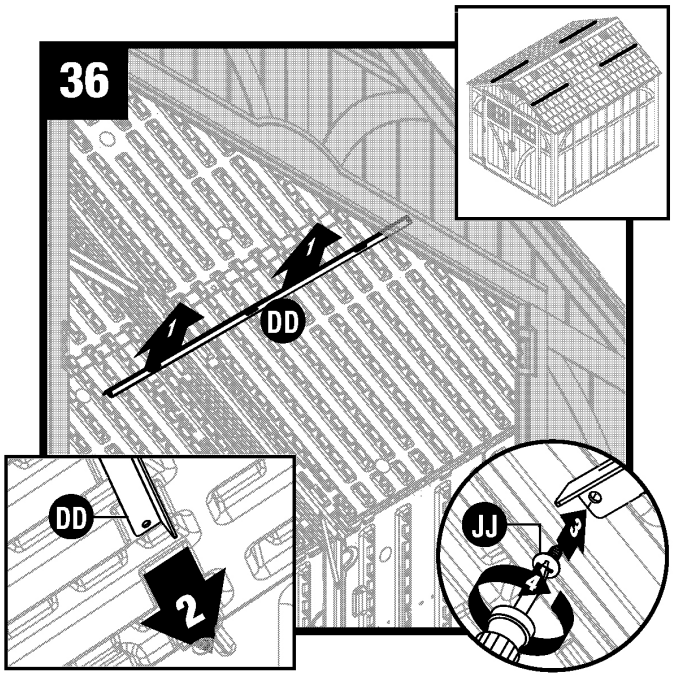




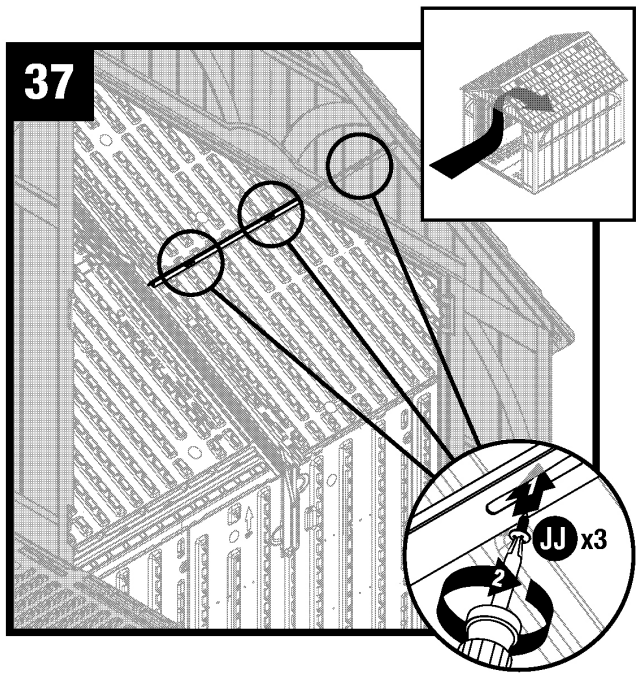
1 人が外側から、ルーフパネルの端を下へ押さえます（矢印 1）。もう 1 人が、内側から 4 本のネジ（JJ）を使用して右フロントコーナー（I）およびサイドパネル（F）とを固定してください。

6 本のネジ（JJ）を使用して、トラスとルーフパネルを固定してください。他のトラスにも同じ作業を繰り返します。
注：ネジ締めは屋根側からフロア側への順で行ってください。

屋根の組立

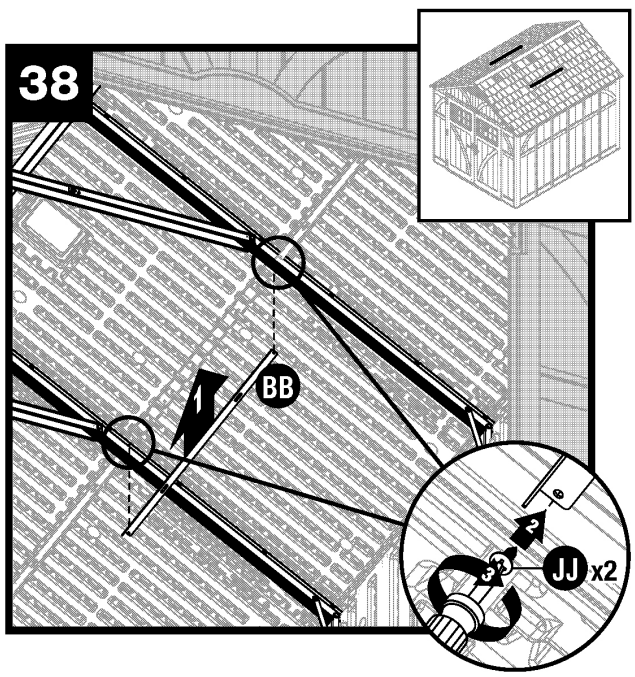


ルーフサポートブラケット（DD）をルーフ部分に配置し（矢印 1）、端をフロントヘッダーにスライドさせます（矢印 2）。ネジ（JJ）を使用してトラスレッグ部と固定してください。

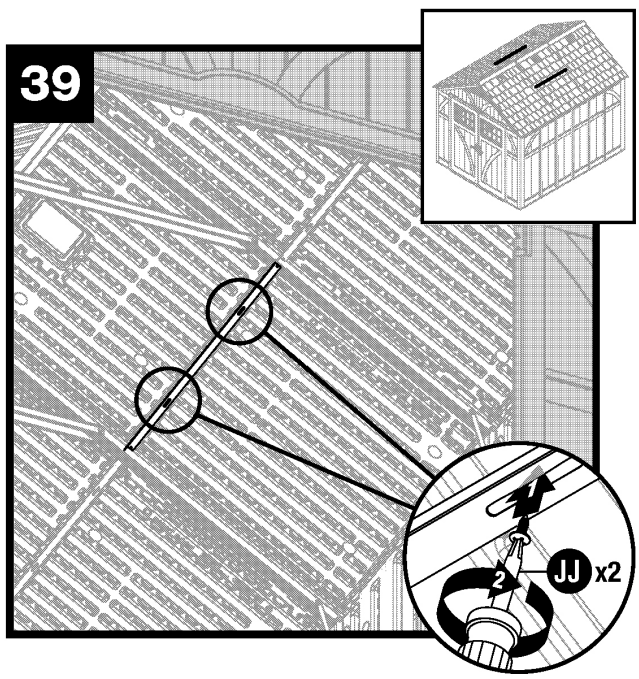


3 本のネジ（JJ）を使用して、ルーフパネルとルーフサポートを固定してください。

残りのルーフパネルも 36-37 のステップを繰り返して、ルーフサポートを取り付けます。

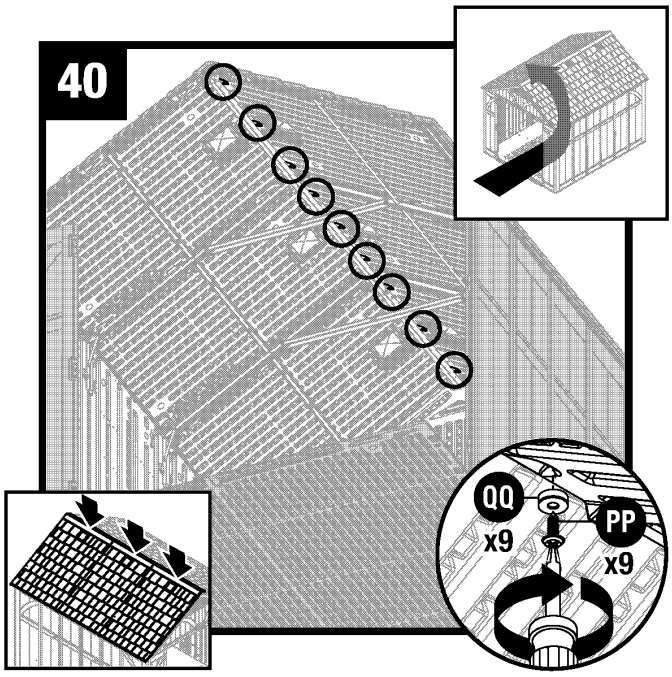


ネジ（JJ）を 1 本ずつ使用して、トラスレッグにエクステンションブラケット（BB）を取り付けます。



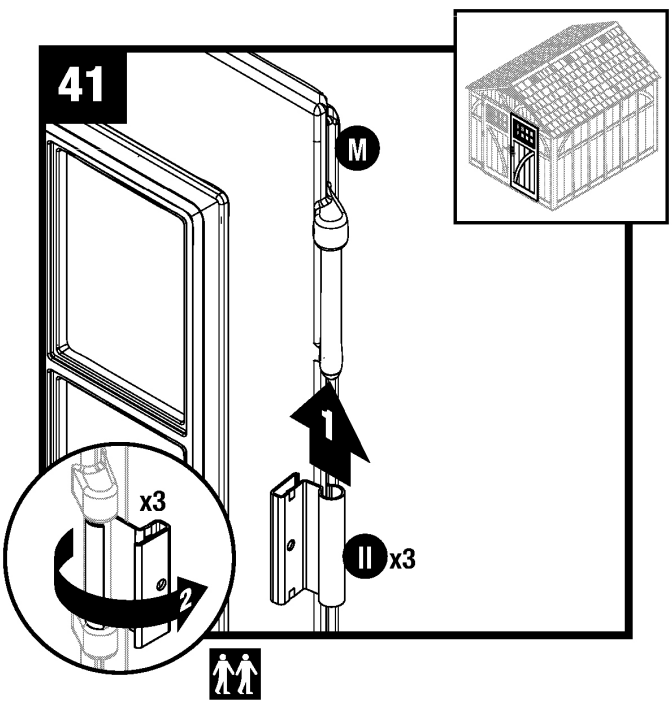
2 本のネジ（JJ）を使用して､ルーフパネルとエクステンションブラケット（BB）を固定します。
残りのルーフパネルも 38-39 のステップを繰り返して、エクステンションブラケッを取り付けてください。

屋根、ドアの組立

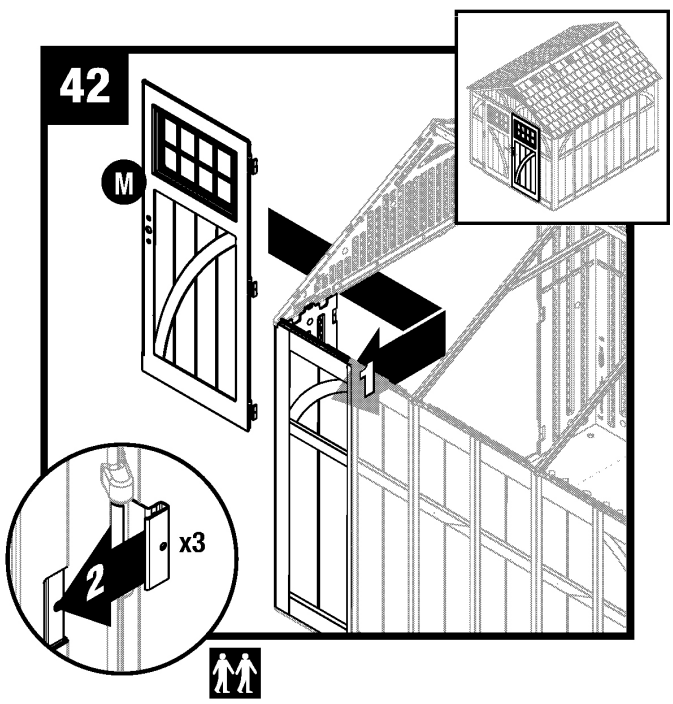


ワッシャー（QQ）とネジ（PP）を 9 つずつ使用して、左右のルーフパネルを接続します。図を参照して穴位置を確認してください。
注 : もう一人が外側からルーフパネルを下側におさえると接続しやすくなります。

注 : 説明の為、図はフロントパネル及びフロントヘッダーが無い状態で描かれています。



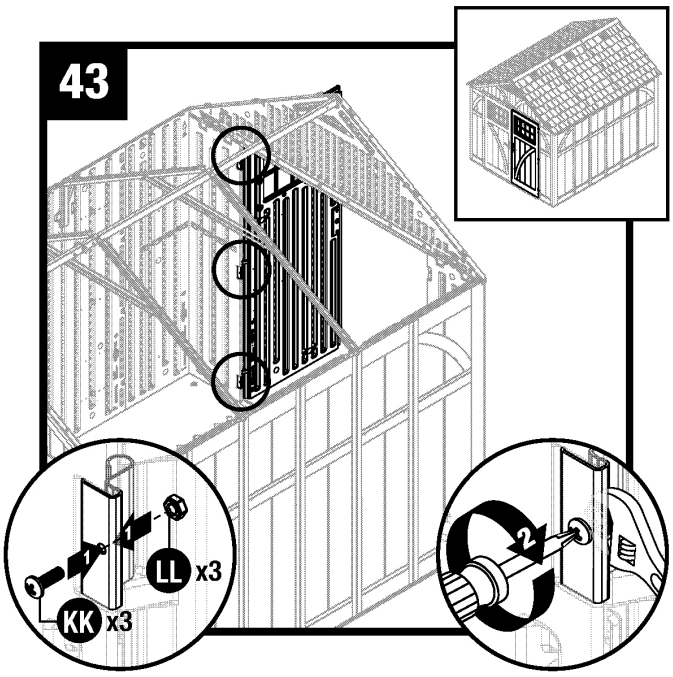
右ドア (M) を立てて、3 つのヒンジを取り付けます。図を参照してヒンジプレート (II) を矢印 1 方向へスライドさせ、矢印 2 のように回しながら取り付けます。



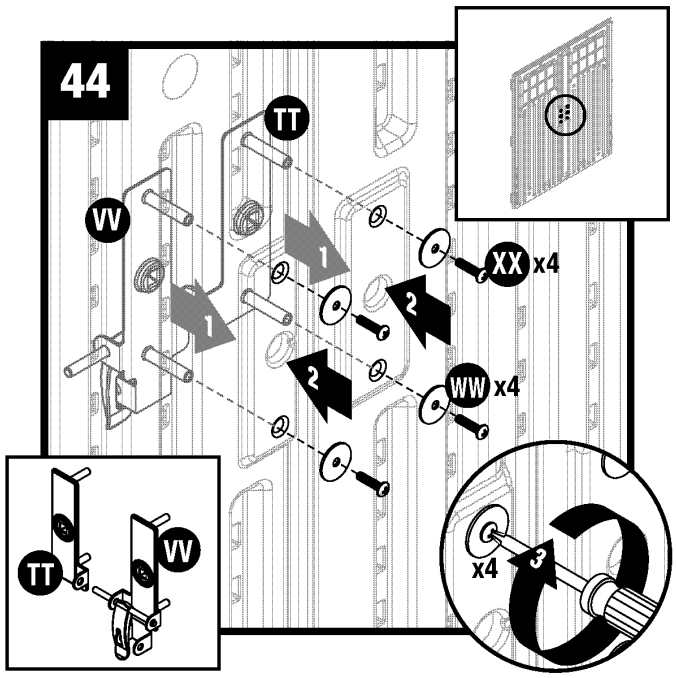
右ドア（M）を図のように開いた状態にして、右フロントパネルの 3 箇所のヒンジ取付位置にヒンジプレートをはめ込みます。

注 : 説明の為、図はルーフパネルが無い状態で描かれています。

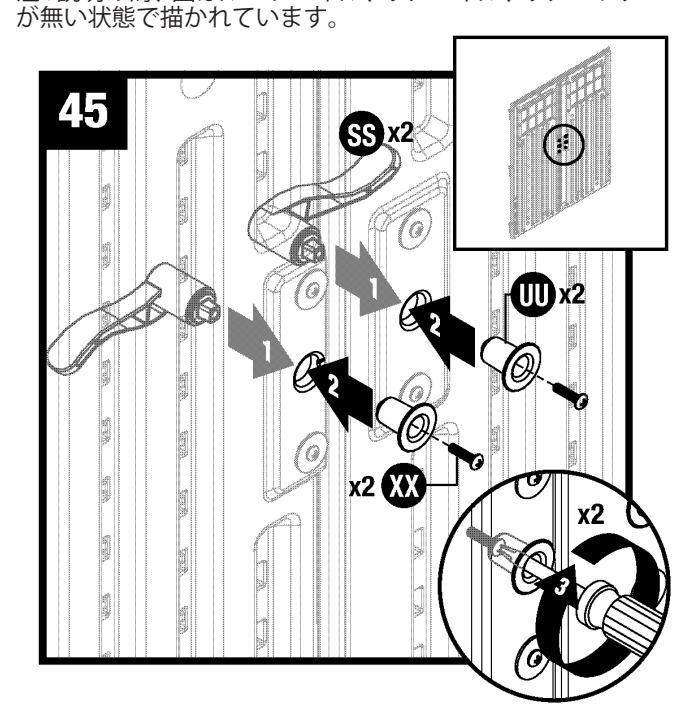
ドアの組立



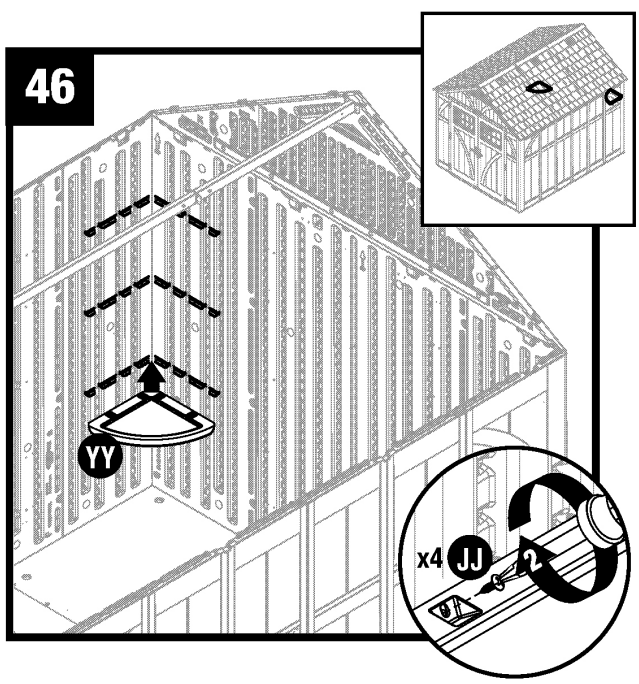
ボルト（KK）とナット（LL）を 3 つずつ使用して、ヒンジを固定します。ボルトは内側から挿入します。左ドアも 41-43 の同じ手順で取り付けてください。
注 : 説明の為、図はルーフパネル、リアパネル、リアヘッダーが無い状態で描かれています。



左右のハンドルプレート（TT/VV）のネジスタッドをドアの穴に挿入します。ワッシャー（WW）とネジ（XX）を 4 つずつ使用して固定してください。



図のように外側からドアハンドル（SS）を挿入して、内側からスペーサー (UU) と合わせます。ボルト (XX) を使用してドアハンドルを固定してください。



4 本のネジ（JJ）を使用して、シェルフ（YY）を取り付けます。

注：4 隅の好きな場所に配置できます。
注：説明の為、図はルーフ、フロントヘッダのトラスが無い状態で描かれています。

完成